

令和7年度使用

中学校用及び川崎高等学校附属中学校用教科用図書についての調査審議結果

※「令和7年度川崎市使用教科用図書採択方針」の8頁にある「中学校における教科用図書の採択手順」フロー
図の⑦に対応

目次

国語	…	3 頁	音楽 (一般)	…	16 頁
書写	…	4 頁	音楽 (器楽合奏)	…	17 頁
社会 (地理的分野)	…	5 頁	美術	…	18 頁
社会 (歴史的分野)	…	6 ~ 8 頁	保健体育	…	19 頁
社会 (公民的分野)	…	9 • 10 頁	技術・家庭 (技術分野)	…	20 頁
地図	…	11 頁	技術・家庭 (家庭分野)	…	21 頁
数学	…	12 • 13 頁	英語	…	22 • 23 頁
理科	…	14 • 15 頁	道徳	…	24 • 25 頁

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

国語

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 国語 1 新編 国語 2 新編 国語 3	・一年間で身に付ける力を「領域別教材一覧」で示し、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる工夫をしている。 ・学習の進め方に、各教材を通して身に付けたい汎用的な言語能力のポイントを「言葉の力」として示し、身に付けたい力を意識できる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、何をどのように学ぶのか見通しをもつて単元冒頭に「見通す」「学習の流れ」を示している。	【知識及び技能】 ・情報の関係を捉えたり、情報を整理したりできるように「情報と論理の学び」のページを掲載している。 ・言葉を知り、使える言葉を増やせるよう、各单元の「てびき」の中に「広がる言葉」というコーナーを設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・レポートや依頼状、お礼状の書き方など、実践的な取り組みができるような活動を設定している。 ・「言葉の力」で、文学的な文章と説明的な文章を読むためのポイントを図解等を用いて示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各单元の冒頭に、「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・前に学習したことを生かせるように、「『言葉の力』一覧」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「読書への招待」「読書案内」「読書活動」「資料編」で、ポップ作りやビブリオバトルなどの様々な読書活動を設定している。また、多様な文種・ジャンルの図書や学習内容と関連する図書を紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように、各系統ごとにつけたい力を一覧でまとめた「領域別教材一覧」を掲載している。 ・見通しをもって学習に取り組むことができるよう 「てびき」で学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・表紙に、中学生を風景の一部にしたイラストを用いている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数、1行ごとに点を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「古典」「未来への扉」が分かるように、マークと色で示している。
15 三省堂	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3	・「読むこと」の領域において、今までに身に付けてきた力と、これから身に付けていく力を「読み方を学ぼう」で示し、生徒が身に付けていく力のつながりを意識できる工夫をしている。 ・学習の進め方に思考と語彙に関するポイントを示し、活用できる力の育成につなげる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元冒頭に「学びの道しるべ」「学習の流れ」を示し、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるようにしている。	【知識及び技能】 ・「情報を関連づける」の单元において、情報の扱い方を漫画を用いて説明している。 ・理解できる語句と使える語句の量を増やすために、各单元の「学びの道しるべ」の中に、教材に関連した語彙を取り上げる「語彙を豊かに」というコーナーを設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「飲み水は不足しているか」など、現代的な課題に向き合える教材を掲載している。 ・「読み方を学ぼう」で、文学的な文章と説明的な文章を読むための方法を示している。また、前の单元で身に付いた力や後の单元で身に付ける力の系統性も示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各单元の冒頭に、「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・身に付いた力を生かせるように、各单元の最後に「学びを広げる」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・資料編に掲載している「読書の広場」では、多様な文種・ジャンルの図書や单元の学習内容に関連する図書を紹介している。また、ブックトークやビブリオバトルなど、様々な読書活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように「領域別教材一覧」の中に、各教材で「つけたい力」を明記し、その中でも重点を置く項目に◎をつけている。 ・見通しをもって学習に取り組むことができるよう 「学びの道しるべ」で学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・表紙は、ペンギン、シマウマ、イルカ等の動物のイラストを用いている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」が分かるようにマークと言葉で示している。
17 教出	伝え合う言葉 中学国語 1 伝え合う言葉 中学国語 2 伝え合う言葉 中学国語 3	・一年間で学ぶ内容と身に付ける力を一覧にして「言葉の地図」で示し、生徒が主体的に学習に取り組むことができる工夫をしている。 ・学習の進め方に「ヒント」「参考」を掲載し、深い学びにつながるように工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の目的意識をもって学習に取り組めるように単元冒頭に「学びナビ」を掲載している。	【知識及び技能】 ・日常的に接する情報について考えることができる「情報・メディアと表現」を掲載している。 ・「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」を掲載して、語彙を増やし、日常生活や学習で活用できるようにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「SNSから自由になるために」など、身近な話題を取り上げて生活との関連を図っている。 ・教材の前ページに「学びナビ」をおき、文学的な文章と説明的な文章を読むためのポイントを示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各单元の冒頭に、「知識・技能」「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・各单元の最後に「学びを生かす」を掲載し、身に付いた力を生かせるようにしている。 【かわさき教育プラン】 ・「広がる本の世界」「読書への招待」で、作者・筆者や、教材のテーマなどに関連する図書や多様な文種・ジャンルの図書を紹介している。また、レポートを書いたりポップを作ったりと、様々な読書活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように各系統ごとにつけたい力を一覧でまとめた「言葉の地図」を掲載し、その中でも重点を置く項目に◎をつけている。また、SDGsとの関連も示している。 ・何を学ぶのか見通しをもてるように、「学びナビ」を示している。 【分量・装丁】 ・表紙は、一人の人物が本を読んだり、絵を描いたりするイラストを用いている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数、1行ごとに点を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「読書」「古典」「情報・メディアと表現」が分かるようにマークで示している。
38 光村	国語1 国語2 国語3	・3領域で今までに身に付けてきた力と、これから身に付けていく力を「学びのカギ」として示し、生徒が身に付けていく力のつながりを意識できる工夫をしている。 ・学習の進め方に、教材や教科を超えて活用できる、資質・能力を「学びのカギ」として示し、身に付ける力を実感できる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、習得と活用を一体化的に進めていくように、単元冒頭に「つけたい力を「目標」として示している。	【知識及び技能】 ・情報の扱い方や関係・整理のしかた等を示す「情報整理のレッスン」「情報収集の達人になろう」を掲載している。 ・語彙を増やし、日常生活で活用できるように「語彙を豊かに」「語彙ブック」「言の葉ポケット」等を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他教科での学びや日常につながる单元等を設定しており、教科横断的な学習を提案している。 ・「学びのカギ」で、文学的な文章と説明的な文章を読むためのポイントを示している。また、同ページに、前の单元で身に付いた力や後の单元で身に付ける力の系統性も示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各单元の冒頭に、「知識・技能」「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・单元のポイントや、前後の单元とのつながりを確かめられるように「学びのカギ」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「読書を楽しむ」「本の世界を広げよう」では、ポップ作りや読書会など、様々な読書活動を設定したり、学習内容と関連する図書や多様な文種・ジャンルの図書を紹介したりしている。また、読書記録や読みたい本のリストを作成するなど、読書生活を豊かにするための活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように、各系統ごとにつけたい力の一覧表を掲載し、身に付ける力を言葉で示したり、重点的に学習する内容を濃い色で示したりしている。また、SDGsとの関連も示している。 ・見通しをもって学習に取り組み、学んだことを観点ごとに振り返ることができるよう 「学びへの扉」で学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・表紙は、楽器や自然、動物のイラストを用いている。また、1年生から3年生までの表紙がつながっているデザインになっている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数、1行ごとに点を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「読書」「情報」が分かるようにマークと色で示している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

書写

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫 学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい書き写一・二・三年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のポイントを焦点化して「書写のかぎ」として示し、効率的、効果的に学習を進める工夫をしている。 ・生活に活用できる書写力の育成を目指して、書写での学びを他の学習や生活に生かすことができる教材の配置を工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習のポイントである「書写のかぎ」を軸に、課題解決型の学習過程を設定している。 ・「見つけよう」の活動の後に、文字を書く上でのポイントを焦点化した「書写のかぎ」を示している。 ・行書と出会うページでは、楷書と行書の違いを「東」という字で比べさせて、次のページに点画の特徴を示している。 ・思考力、判断力、表現力等】 ・目的や必要に応じて書写の学習を活用し、効果的に文字を書く力を育成できるように、「生活に広げよう」を設定している。 ・毛筆の単元において、比較や観察から文字を書く際のポイントを考えられるように、「見つけよう」という学習過程を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活につながるさまざまな書式や硬筆字典等を「書写活用ブック」に掲載している。 ・単元の最後に、自己の学びについて振り返ることができる「振り返ろう」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・「生活に広げよう」の単元等で、課題解決に向けて話し合う学習活動を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるように、卷頭に「書写の学習の進め方」を1ページで示している。また、自分の言葉で説明することを吹き出しで促している。 ・単元を「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」で構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆において文字手本を片側1ページに掲載している。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「基本点画の書き方」で、イラストや擬態語、矢印、穂先の写真を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・「用具の片づけ方」では、大筆、小筆、硯ごとに項目を分け、片付け方を4枚の写真と言葉で説明している。
15 三省堂	現代の書き写一・二・三	<ul style="list-style-type: none"> ・「書き方を学ぼう」で学習のポイントを示し、各教材で学習すべき内容が分かるように工夫をしている。 ・国語の学習とつながる活動や日常の書式等を掲載することで、書写での学びを国語の学習や日常生活につなげることができるように工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書き方を学ぼう」で、文字を書く上でのポイントをページのはじめに示している。 ・行書と出会うページでは、楷書と行書の違いを「実」「結」という字で比べさせて、点画の特徴を同じページに示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書写で身に付けた力を国語の学習で生かすことができるように、「やってみよう」の学習活動を設定している。 ・毛筆の単元において、比較や観察から文字を書く際のポイントを考えられるように、「書き方を学ぼう」という学習過程を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活につながるさまざまな書式や書の古典等を「資料編」に掲載している。 ・単元の振り返りでは、自分が学んだことを書く「自分が学んだことを書き残そう」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・楷書と行書の使い分けを考える単元等で、課題解決に向けて話し合う学習活動を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるように、卷頭に「自分の文字をよくするために」で、教材の構成や学習の流れを見開きページで示している。 ・単元を「目標」「書き方を学ぼう」「書いて身につけよう」「振り返ろう」という学習過程で構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆において文字手本を片側1ページに掲載している割合が多い。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「点画の種類と筆使い」で、図や矢印を用いて筆圧や筆使いを示している。 ・「用具の片づけ方」では、大筆、小筆、硯ごとに項目を分け、片付け方を4枚の写真と言葉で説明している。
17 教出	中学書写	<ul style="list-style-type: none"> ・「試し書き」の欄を設け、教材の文字と比べて学習のポイントに気付けるように工夫をしている。 ・生きて働く書写力を育成するために、書写での学びを様々な学習活動や生活に生かせる活動を設定する工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、生徒が、自分で課題を解決していくための具体的な方法が分かる「学習の進め方」を提示している。 ・「試し書き」の欄を設け、教材の文字と比べて学習のポイントに気付けるように工夫をしている。 ・身に付けた力を活用できるように、「学校生活に生かして書く」「学習を生かして書く」等を設定している。 ・毛筆の単元において、観察から文字を書く際のポイントを考えられるように「考えよう」という学習過程を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活につながる手紙の書き方や封筒の書き方等を「書式の教室」に掲載している。 ・単元目標に対して自己評価をする「振り返ろう」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・「学習の進め方」に、課題を解決していく学習の流れや、話し合い活動を通した学び方の「話し合いのポイント」を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるように、卷頭に「学習の進め方」を見開きページで示している。また、自ら課題を発見していく様子を写真で示している。 ・単元を「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」で構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆において文字手本を片側1ページに掲載している割合が多い。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「基本点画の種類」で、イラストや穂先の写真、矢印、数字を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・「後片づけ」では、大筆、小筆、硯の片付け方をまとめて3枚の写真と言葉で説明している。
38 光村	中学書写一・二・三年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のポイントを焦点化して「学びのかぎ」として示し、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる工夫をしている。 ・書写での学びを、日常生活や学習に生かすことができるよう、教材の題材は生徒の日常生活から幅広く取り上げる工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、書写の基礎・基本、原理・原則を主体的に学ぶことができるよう、課題解決型学習を想定して構成している。 ・「考えよう」の活動の後に、文字を書く上でのポイントを焦点化した「学びのかぎ」を示している。 ・行書と出会うページでは、楷書と行書の違いを「緑」という字で比べさせて、次のページに点画の特徴を色ごとに変えている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた書写の力を活用できるように、「行書を活用しよう」などのページを掲載している。 ・毛筆の単元において、比較や観察から文字を書く際のポイントを考え、その考えを鉛筆で記入できる「考えよう」という学習過程を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習や生活で活用することができるよう、「日常に役立つ書式」に日常の書式等を掲載している。 ・身に付いた力を実感できるよう、「目標」の下に「振り返ろう」のチェック項目を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・「手書きのよさって、何だろう」の単元等で、課題解決や理解を深めるための話し合い活動を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるように、卷頭に「学習の進め方」を見開きページで示している。また、話し合って課題解決する様子を写真で示している。 ・単元を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆において文字手本を見開きページに掲載している割合が多い。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「点画の種類」「漢字の筆使い」で、イラストや穂先の写真、矢印、数字、擬態語を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・「用具の片付け」では、大筆、小筆、硯ごとに項目を分け、片付け方を6枚の写真と言葉で説明している。 ・また、片付けとSDGsとのつながりを写真で示している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会(地理的分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 地理	・単元を通して課題を解決するために、「探究課題」「学習課題」「探究のステップ」を設定し、「まとめの活動」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「未来にアクセス」を掲載し、持続可能な社会の実現について考えるために、様々な取組を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、思考を整理する多様なツールを活用する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・本文にある用語や学習と関連し内容をさらに調べができるように、「もっと解説」「もっと知りたい！」を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本時の習得事項を確認し、学習課題の解決に向けて自分の考えを表現するために、「チェック」「トライ」を設けている。 ・各章(節)の導入で「探究課題」を提示し、「地理的な見方・考え方」を働きかせて解決に迫れるように、「まとめの活動」を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題への意識が高められるように、各見開きページの左上に導入資料を掲載し、それに関連した説明資料を提示している。 ・第4章で「持続可能な地域の在り方」について考えられるように、地域の課題を調査し、解決策を提案する学習過程を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマとして、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。 ・第2章のまとめの活動で「地球的課題」を振り返るページを設け、SDGsとの関連から考える例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」と学習の流れを示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック」「トライ」等の学習の流れを統一して示している。 ・動画やワークシート等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、学習内容の前に教科書の使い方や地理的な見方・考え方等を掲載している。	・先生と生徒のキャラクターを掲載し、章の導入やまとめで資料を読む視点や学習活動等を示している。 ・色覚の個人差を問わず、見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。
17 教出	中学社会 地域にまなぶ	・単元を貫く課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「学習のまとめと表現」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・巻頭でSDGsを紹介し、「クロスロード」で持続可能な社会に向けた取組を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、課題に対して既習を生かして段階的に考える工夫をしている。	【知識及び技能】 ・現代社会の動きと関連させながら考えができるように、見開きページ内の学習内容に関わる「地理の窓」のコラムを設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習内容を確認し、知識を活用して自分の考えを表現できるように、各見開きページの最後に「確認！」と「表現！」を設けている。 ・各章(節)の導入で提示した課題に対して3つのステップを経て地域的特色に迫るように、「学習のまとめと表現」を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「クロスロード」で、地球的課題の解決に向けたSDGsや社会参画についてのコラムを掲載している。 ・第4章で、地域の課題やあり方を考えることができるよう、地域の課題を調査し、解決策を発表し共有する学習過程を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、SDGsについて「地球的課題とSDGs」として紹介し、地球的課題と17の目標との関係を考えるように促している。 ・「わたしたちのまち」の視点から、東京大都市圏の事例地として神奈川県や川崎市を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「導入」「〇〇をながめて」「本編」「学習のまとめと表現」と学習の流れを示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認！」「表現！」等の学習の流れを統一して示している。 ・動画や地理クイズ等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、教科書の構成や地理的な見方・考え方等を掲載している。	・先生、生徒のキャラクターを掲載し、章の導入や見開きで資料を読む視点や問題点等を示している。 ・色覚の個人差を問わず、見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。
46 帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	・問い合わせをして課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「学習を振り返ろう」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「未来に向けて」を掲載し、持続可能な社会の実現に向けた取組を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、地図や思考ツールを活用して考えをまとめる工夫をしている。	【知識及び技能】 ・見開きページ内の学習内容について理解が深まるように、「地理プラス」「未来に向けて」のコラムを設けている。 ・資料を活用する力が身に付くように、資料の読み取り方や地図帳との関連を示した「技能をみがく」「地図帳活用」を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料から読み取る内容を確認し、学習課題に対して自分の考えを説明する、「確認しよう」「説明しよう」のコーナーを設けている。 ・各章(節)で提示した「章(節)の問い合わせ」について、地図や思考ツールを活用して考えをまとめる「学習を振り返ろう」を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各見開きページの左上に導入資料を掲載しており、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。 ・第4部では、持続可能な社会について考えるために、地域の実態や課題を調査し、その解決策を提案する学習過程を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、SDGsについて「未来に向けてよりよい社会を目指して」をテーマとし、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。 ・「未来に向けて」のコラムにSDGsマークを付け、持続可能な社会に向けて取り組んでいる事例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「写真で眺める」「その章ごとの毎時の学び」「学習を振り返ろう」と学習の流れを示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」等の学習の流れを統一して示している。 ・動画、ワークシート等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、教科書を活用した学び方や地理的な見方・考え方等を掲載している。	・先生と生徒のキャラクターを掲載し、章の導入や見開きで資料を読む視点や問題点等を示している。 ・色覚特性に適応するようにデザインをしている旨を記載している。
116 日文	中学社会 地理的分野	・学習を見通して課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「まとめとふり返り」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「持続可能な社会を目指して」を掲載し、地域が抱える課題に対する取組を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、思考ツールを活用して段階的に考える工夫をしている。	【知識及び技能】 ・見開きページの学習内容について事例をもとに理解ができるように、「地理+α」のコラムを設けている。 ・資料の読み取り方や地図の活用の仕方等、地理の学習で必要な技能を示した「スキルUP」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本時の学習を振り返って自分の考えを整理、表現できるように、各見開きページの右側に「確認」「表現」のコーナーを設けている。 ・各章(節)末では、思考ツールを活用して段階的に考えることができるよう「STEP」を示した「まとめとふり返り」を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各見開きページの左上に導入資料を掲載し、資料の読み取り方に関する問い合わせなどを提示している。 ・第3編第4章の「地域の在り方」では、地域をよりよくするための課題を調査し、その解決策を発信する学習過程を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、SDGsについて「持続可能な社会と私たち」をテーマとして、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。 ・「持続可能な地域をめざして」のコラムでは、学習内容に関わる国や地域の具体的な事例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「つかむ」「問い合わせ」「まとめ、ふり返る」と学習の流れを示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認」「表現」等の学習の流れを統一して示している。 ・動画やポートフォリオ等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、地理的な見方・考え方や教科書の構成と学び方等を掲載している。	・先生と生徒のキャラクターを掲載し、章の導入や見開きで資料を読む視点や気付き等を掲載している。 ・見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会(歴史的分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会歴史	・単元を通して課題を解決するために、「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」を設定し、「まとめの活動」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・持続可能な社会の形成を意識できるように、巻頭で現代的な諸課題の視点を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめを重視し、まとめでは多様な思考ツールを活用する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・具体的な知識を身に付けるために、各章の「まとめの活動」で、学習した語句、年表や地図を活用した問題を掲載している。 ・歴史に関わる基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」で、年表の活用、系図の読み取り方等を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・その時代の特色を問う課題について多面的・多角的に考えまとめられるように、各章のまとめで、シンキングツールを示している。 ・時代の流れを把握することができるよう、見開きの右ページ端に、年表スケールを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各章の導入では、該当の時代の特色を表す絵画資料等を掲載し、「みんなでチャレンジ」のコーナーで活動方法を示している。 ・「歴史のまとめ」で、これまでの学習を振り返り、持続可能な社会の実現に向けて自分の考えをまとめる課題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「メディアの発達が日本を変えた」で、電信の導入について横浜市保土ヶ谷区を題材にした浮世絵を掲載している。 ・巻頭で持続可能な社会の実現に向けて歴史に学ぶことを示し、持続可能な社会に関する学習課題を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の導入では、章についての探究課題を提示し、探究のステップで各節の課題を示している。 ・動画やワークシート等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用し、287ページで構成している。 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に三つ折りの折込で年表を掲載している。	・他分野や他教科との関連を図れるよう、分野関連マークや教科関連マークを掲載している。 ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント、生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている旨を掲載している。
17 教出	中学社会歴史 未来をひらく	・単元を貫く課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「学習のまとめと表現」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「歴史学習の終わりに」を掲載し、現代の諸課題の解決に向けて主体的に関わることができるように工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元を見通し、時代の特色を説明する活動を重視した単元構成を工夫している。	【知識及び技能】 ・時代の移り変わりを理解するために、章末の「学習のまとめと表現」で、日本と世界の動きを関連させた年表を掲載している。 ・歴史学習の基本的な技能を身に付けることができるよう、「歴史の技」で、資料活用に関わる問い合わせや解説を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代の特色を多面的・多角的に考えられるように、章末の「学習のまとめと表現」で、時代の特色を説明するコーナーを設けている。 ・時代の流れを把握しやすいように、各見開きの左ページの学習課題の欄に時代スケールを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各章の導入では、「学習の始めに」のページを設け、絵画資料を読み取り、興味、関心を高める設問を掲載している。 ・「歴史の窓」では、学習内容を捉え直す歴史的事象の背景や影響、関連するエピソードをコラムとして掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「身近な地域の歴史を調べよう」では、「移り変わる戦後の街を訪ねて」で川崎市の戦後から現在への移り変わりを掲載している。 ・「歴史学習の終わりに」でSDGsを取り上げ、歴史で学んだことを生かし、現代の課題と解決方法を探究するページを設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入では章全体に関わる問い合わせを、章末には時代の特色を振り返る問い合わせを示している。 ・動画や歴史クイズ等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用し、298ページで構成している。 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に二つ折りと三つ折りの折込で年表を掲載している。	・「歴史をさぐろう」ページの下部には、公民、地理との関連を示すマークを掲載している。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、色覚の個人差を問わず、見やすいカラー・ユニバーサルデザインに配慮している旨を掲載している。
46 帝国	中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き歴史	・問い合わせをして課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「章の学習を振り返ろう」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「未来に向けて」を掲載し、持続可能な社会の形成に向けた視点や取組を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、歴史的な見方・考え方を働かせて、時代の特色をまとめる工夫をしている。	【知識及び技能】 ・時代を比較してその特色を理解できるように、「タイムトラベル」で、各時代を大観する見開きのイラストを掲載している。 ・歴史学習における基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「技能をみがく」では、様々な資料活用のコラムを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「章の学習を振り返ろう」で、時代の特色を多面的・多角的に考え、説明するために3段階のステップを設定している。 ・時代の流れを把握しやすいよう、見開きの右端縦を用いて、学習する時代の年表スケールを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各章のはじめに、複数の資料からこれから学習する時代の見通しをもち、どのような時代か予想する活動を掲載している。 ・歴史で学んだことを生かして考えることができるよう、具体的なテーマを設定した「アクティブ歴史」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「絹の道」と日本の製紙業のページで、横浜市が外国への積出港であり、鉄道網が整備されたことを記載している。 ・「未来に向けて」では、歴史的事象をSDGsと関連付け、よりよい社会を構築するための人々の取組を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入では「章の問い合わせ」を示し、「学習を振り返ろう」では、課題解決の道筋を示している。 ・動画、ワークシート等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用し、314ページで構成している。 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に二つ折りの折込2枚で年表を掲載している。	・ページの下部では、小学校の学習や地理、公民との関連の事項を掲載している。 ・ユニバーサルデザインの観点から色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫し、見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。
81 山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	・章の始めに日本と世界の出来事を示す帶年表やイラストを掲載して、章全体の流れを捉え、章末の「まとめ」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・日本や世界の伝統や文化を尊重するため、巻頭やマークで世界遺産や国宝等を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、時代の大きな流れをつかむための構成や、章のまとめをする工夫をしている。	【知識及び技能】 ・これから学ぶ時代の見通しがもてるよう、各章の導入に帶年表を掲載し、日本と世界の出来事を写真や資料を使って示している。 ・歴史学習に必要な技能の習得に向け、第1章では、年表の見方、課題設定の仕方、レポートの作成・発表方法等を示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代背景を捉えられるように、「歴史を考えよう」で、関連する美術作品や史料・地図、制度やルール等を掲載している。 ・各章の「まとめ」では、章の学習を振り返り、各時代を多面的・多角的に捉えるために、表や文章でまとめるページを設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各单元の導入で、生徒が主体的に取り組めるよう、写真やイラストで時代の特色を示し、日本と世界の年表を掲載している。 ・第7章の「まとめ」で、歴史学習から現代社会の解決すべき課題を分類し、具体的な問題を調べ解決策を考える活動を示している。 【かわさき教育プラン】 ・「近代日本の産業と文化」では、旧横浜正金銀行(神奈川県立歴史博物館)の写真を掲載している。 ・現代の単元では、現在の日本の課題として自然災害や地球温暖化、少子高齢化等を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入では、これから学ぶ日本と世界の出来事を示し、章の学習の流れを示している。 ・動画、拡大資料、ウェブサイトが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用し、288ページで構成している。 ・日本と世界のつながりを調べるために、章の導入のページで年表を掲載している。	・世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを掲載している。 ・色覚の個人差を問わず、見やすいよう、カラーユニバーサルデザイン、見やすく読み間違いにくいユニバーサルフォントを採用している旨を掲載している。

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会歴史的分野	・学習を見通して課題を解決するために、「章や節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「まとめと振り返り」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「歴史との対話を未来に活かす」を掲載し、社会の課題を自分の事として捉えることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、課題の解決に向けて、図や表を活用して時代の特色をまとめる工夫をしている。	【知識及び技能】 ・その時代の大まかな歴史の流れを捉えられるように、学習の中心となる用語等を文章で説明し、見開き左側に年表を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「まとめと振り返り」で、見方・考え方を働かせて時代の特色を捉えるために、章の内容を表や図等にまとめる活動を設けている。 ・「見方・考え方」のコーナーで、学習課題の解決の手がかりとなる歴史的な見方・考え方の例を示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各編の「まとめと振り返り」で、学習の始めと比べた考えの変容をまとめ、これから学びに生かすことを整理するように示している。 ・「歴史を掘り下げる」で、社会の形成に主体的に関わる態度を養うために、その時代の人々の行動や様子を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「江戸時代の交通網の整備」で、復元された箱根関所の写真を掲載している。 ・「世界平和への取り組み」「政治参加の歴史」「災害への対策の歴史」の事例を取り上げ、SDGsと関連させた課題を提起している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各編の導入に課題となるめあてを提示し、まとめのページでは、各時代の特色をまとめる構成にしている。 ・動画やポートフォリオ等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用し、307ページで構成している。 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に二つ折りの折込3枚で年表を掲載している。	・「見方・考え方」、世界遺産、国宝等のマークを掲載している。 ・見やすいカラーユニバーサルデザイン、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。
225 自由社	新しい歴史教科書	・課題の解決に向けて、見開きで「学習課題」「チャレンジ」を掲載し、章の終末で「時代の特徴を考えるページ」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「歴史を学んで」を掲載し、日本の歴史を振り返ってその特色を考察する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、調べたことやわかったことを文章にまとめる構成を工夫している。	【知識及び技能】 ・本文の記述を補う注で解説を示し、事象についての詳細な説明をする「歴史の言葉」「知つ得ポイント」を掲載している。 ・学習内容の時期が分かるように、各ページに「歴史モノサシ」として年表を設けて単元で扱うおおよその時期を示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えを伝え合う活動ができるように、章末にどのような時代だったのかを整理する「時代の特徴を考えるページ」を設けている。 ・「歴史を学んで」で、学習したことから考える課題を提示し、日本の歴史の特色について考える活動を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・序章「歴史のとらえ方」で、興味のある歴史上の人物について調べ、800字の人物伝記を書く活動を設けている。 ・歴史の出来事への興味や関心を高めるように、「もっと知りたい」のコラムを設け、解説を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「人物クローズアップ」で、「二宮尊徳と勤勉の精神」のコラムを掲載している。 ・巻頭で、「日本の世界文化遺産」を取り上げ、一覧表、地図、写真を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の扉で各授業の学習課題を提示し、単元で学んだことをまとめられるように、各章末の「時代の特徴を考えるページ」を設けている。 ・見開きの左ページで学習課題を設定し、右ページ下に知識の定着を図る「チャレンジ」を設定している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用し、300ページで構成している。 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に三つ折りの折込で年表を掲載している。	・世界遺産、国宝、重文のマーク、歴史上の文書・文献がもとにになっている資料であることを示すマークを掲載している。 ・学習課題と本文のフォントを変えて掲載している。
227 育鵬社	新しい日本の歴史	・時代を大観しながら課題を解決できるように、「章の課題」「節の課題」「学習課題」を設定し、「学習のまとめ」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「歴史学習のまとめ」で、歴史で学んだことを将来にどう生かすかを考えることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、時代の特色を年表で整理し、資料を読み取りまとめる工夫をしている。	【知識及び技能】 ・序章で、小学校の既習事項を生かしながら、歴史学習に必要な技能の習得に向け、資料の集め方、発表の方法等を示している。 ・各時間の課題について理解できるように、見開き右ページの下部に「確認」として、基礎的な知識を抜き出す問題を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各章の「学習のまとめ」で、多面的・多角的に時代を捉えられるように、年表や資料を読み取る視点を掲載している。 ・課題に対して知識を活用して考えるために、見開き右ページ下部の「探究」で、学習したことを説明する視点を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各時代の特色を表す資料からその時代を大観できるように、各章の導入で「歴史絵巻」「○○の世界へようこそ！」を掲載している。 ・巻末の「歴史学習のまとめ」で、日本の歴史を大観し、歴史での学びを将来に生かすために、文章でまとめる活動を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「地域の歴史を調べてみよう」で、事例地として横浜市を取り上げ、調査の仕方を掲載している。 ・現代の単元では、SDGsについて取り上げ、これから様々な課題として、地球温暖化、自然災害、少子高齢化等を示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の導入では、単元の内容を資料等で示し、章末では単元の学習内容を振り返るページを設けている。 ・動画やウェブサイトが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用し、292ページで構成している。 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に三つ折りの折込で年表を掲載している。	・世界遺産、国宝のマークを掲載している。 ・ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかい、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。
229 学び舎	ともに学ぶ人間の歴史	・問い合わせや疑問をもって課題を解決するために、部の最初の章の扉で、「部の学習課題」を設定し、「章をふりかえる」「部をふりかえる」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・第10章で現代の社会の課題を掲載し、よりよい社会の実現を考えることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元の学習課題について、地図や年表を活用してまとめる工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「歴史への案内」で、小学校の既習事項を生かしながら、歴史の学習で必要な技能が身に付くよう、歴史の学び方を示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各部や章末の「学習のまとめ」で用語等を確認できるように、年表や地図等を活用した問題を掲載している。 ・各章の導入に年表を掲載し、世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるよう、テーマに合った世界地図を掲載している。 ・章の始めに学習課題を提示し、疑問に思ったことを話し合って考えていくよう促す記述を示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調べる活動、博物館の利用、体験学習の方法を紹介するために、「歴史を体験する」を掲載している。 ・当時の詳しい状況や雰囲気を伝える具体的なエピソードを「フォーカス」に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・事例地として、横須賀市、鎌倉市を取り上げている。また、幕政改革の学習の中で、池上幸豊の取組を掲載している。 ・第10章では、難民や環境問題、戦争と平和といった現代の課題に向き合い、考えを表す活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入において年表や世界地図で単元の学習内容を掲載して学習課題を示すとともに、章や部の終わりでは、その単元の学習内容をまとめられるページを設けている。 ・見開きの左ページで学習課題を設定している。 【分量・装丁】 ・A4判を採用し、299ページで構成している。 ・日本の昔の国名や主な史跡等を調べるために、巻末に二つ折りの折込で地図資料を掲載している。	・歴史の舞台に焦点をあてる「フォーカス」マークを掲載している。 ・見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を掲載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫 との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
236 令書	国史教科書 第7版	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広く知識を習得することができるよう、章の導入で学習課題、内容の項目ごとに課題を設定し、「学習のまとめ」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・第6章「現代」で持続可能な社会について掲載し、国際社会と日本の役割を考えることができる工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章の扉裏に、日本の主な出来事をまとめた略年表を、章末に世界の出来事を加えた年表を掲載している。 ・各章の最後に「中世のまとめ」「近世のまとめ」などのページを設定し、歴史的事象を整理する表を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各節の理解を深めるために、追加の課題としてその節の最後に「考え方」を掲載している。 ・章の学習をまとめる手法として、「自分の言葉でまとめる」「ディスカッションをしてみる」等、様々な方法を提示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・序章で、「歴史的な見方・考え方」として「年代と時系列」「推移」「比較」「関連」「現代とのつながり」の5項目を示している。 ・学習内容に合わせた「文献資料」や「コラム」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「身近な歴史を年表にまとめよう」の事例として、鎌倉市の鶴岡八幡宮を取り上げている。 ・第6章「現代」の「考え方」で、日本はどのように地球環境問題に貢献できるかを調べる活動を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の始めに、「政治」「文化」「外交」「産業」の視点での学習課題を提示している。 ・各節の本文の冒頭に、その節で考えさせたい小課題を提示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A5判を採用し、463ページとカラー資料56ページで構成している。 ・本文に関わる内容を調べるために、巻末に様々な時代地図、日本の文化を示す美術資料をカラーで掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に「注」をつけ、ページの上下に「注」に関する説明を追記している。 ・縦書きでページを上下2段に分けて文章を表記している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会(公民的分野)

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領 との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 公民	・単元を通して課題を解決するために、「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」を設定し、「まとめの活動」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・持続可能な社会の実現に向けた五つのテーマや実際の取組を掲載し、意識を高める工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、課題に対して多様な思考ツールを活用する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・単元の導入やまとめで、課題や学習内容を整理するためウェビングマップやYチャート等のツールを活用する活動を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・章末に現代社会の見方・考え方を働きかせて探究課題を考察できるように、「まとめの活動」で身近な課題を設定している。 ・「見方・考え方」のコーナーで、社会的事象について比較・関連付けて考察する活動等を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・終章では、持続可能な社会を実現するために、課題を選択し、資料の収集や議論をして提案する学習過程を設けている。 ・「18歳へのステップ」で、選挙年齢や成人年齢の引き下げに関して、将来の社会参画に向けて考える手立てを示している。 【かわさき教育プラン】 ・「労働環境の変化と課題」では、障害のある人たちの雇用の事例として、川崎市の工場を掲載している。 ・「もっと知りたい」のコラムで、多文化共生のまちづくりや環境を守る住民の取組の事例を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の導入で探究課題と、節ごとの「探究のステップ」を示している。 ・章末に各節の振り返りと探究課題の解決を行うように設定している。 ・動画やワークシート等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・卷頭では、公民の学習との関連を示すために、持続可能な社会の実現に向けた取組の写真やキーワードを掲載している。	・見開きの資料に地理、歴史、他教科の学習と関連を示すマークを掲載している。 ・小学校やこれまでに身に付けた技能を活用して活動することを示すマークを掲載している。
17 教出	中学社会 公民ともに生きる	・単元を貫く課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「学習のまとめと表現」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・卷頭でSDGsと公民との関連を示し、「持続可能な社会に向けて」で、社会の諸課題を考えることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、課題に対して既習を生かして段階的に考える工夫をしている。	【知識及び技能】 ・学習の理解を深めるために、「学習のまとめと表現」で、章の導入で設定した問い合わせについて図式化してまとめる活動を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各章の問い合わせに対して考えを深めるために、「学習のまとめと表現」で、既習事項を生かして段階的に考察する活動を設けている。 ・学習課題に対して現代社会の見方・考え方を働きかせて考察できるように、各見開きに「確認!」「表現!」を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習内容の興味、関心を高めるために、各章の「学習のはじめに」で、具体的な事例を示しながら、学習の見通しを掲載している。 ・公民全体のテーマを設定し、終章で「持続可能な未来の社会」をテーマに現代社会の課題について対話する活動を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「持続可能な社会に向けて」で、「子ども夢パーク」「音楽によるまちづくり」「市民オンブズマン」の川崎市の取組を掲載している。 ・卷頭では、SDGsの説明を掲載し、見開きページごとに学習内容に関わるSDGsの視点を右ページ下部に示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章に「章の問い合わせ」、節ごとに「節の問い合わせ」を示している。 ・章末に各節ごとの問い合わせを関連付けて、章の問い合わせを解決する活動を設定している。 ・動画や公民クイズ等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・卷頭では、公民の学習との関連を示すために、「みんなで描く持続可能な未来予想図」や現代の取組の写真を掲載している。	・見開きの左下に小学校の学習や地理、歴史の学習と関連する単元名を示すマークを掲載している。 ・資料についての問い合わせや活動を示す「Q」マークを掲載している。
46 帝国	社会科 中学生の公民よりよい社会を目指して	・問い合わせにして課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「章の学習を振り返ろう」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・「未来に向けて」を掲載し、持続可能な社会の実現に向けて、社会をつくる取組を示す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、課題に対して図で整理する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・各節の理解を深めるために、「学習を振り返ろう」で、学習した内容を図で整理してまとめる学習活動を設けている。 ・学習で必要な技能を習得するために、引用の方法、カード分類法等を示した「技能をみがく」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会の見方・考え方を働きかせて考えるために、「学習を振り返ろう」で、問い合わせに対する考え方を図で整理する活動を設けている。 ・「アクティブ公民」で、学んだことを生かして「対立と合意」「効率と公正」等の視点で身近な課題を解決する例を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味関心を高めるために、各章の「学習の前に」で、学習内容に関連した身近な場面と結びつけるイラストを掲載している。 ・将来の社会参画に向けて考えることができるようにするために、「18歳への準備」のコーナーを設置している。 【かわさき教育プラン】 ・「働くことの意義と労働者の権利」の学習で、障害のある人たちの雇用の事例として、川崎市の工場を掲載している。 ・「環境・エネルギー」「防災」等の六つのテーマから未来をつくる取組を紹介するために、「未来に向けて」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章に「章の問い合わせ」、節ごとに「節の問い合わせ」を示している。 ・章末に各節の問い合わせをまとめて章の問い合わせの解決を行うように設定している。 ・動画、ワークシート等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・卷頭では、公民の学習との関連を示すために、よりよい社会を目指して活動する人々の様子写真を掲載している。	・見開きの左下に小学校の学習や地理、歴史の学習で取り上げていることを示すマークを掲載している。 ・特設ページやコラムには、記載内容とSDGsマークを掲載している。
116 日文	中学社会 公民的分野	・学習を見通して課題を解決するために、「章の問い合わせ」「節の問い合わせ」「学習課題」を設定し、「章のまとめをしよう」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・卷頭でSDGsを提示し、「明日に向かって」で持続可能な社会をつくる事例を紹介する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、図や資料を活用して語句の意味を確認する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識の習得を図るために、「章のまとめをしよう」で、語句の意味の確認ができる図や資料を活用した活動を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料をもとに考えることができるように、「アクティビティ」で、考える視点を示し話し合ったり、説明したりする活動を設けている。 ・身近な課題について興味関心をもてよう、「チャレンジ公民」で、実社会を題材にした課題について考える活動を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各章の導入として、漫画を使って具体的な事例から単元の学習の見通しを示している。 ・「明日に向かって」というページを設け、地域社会や将来の課題から中学生の社会参画を促す手立てを示している。 【かわさき教育プラン】 ・「SDGsから社会の課題を考えよう」で、エネルギーの地産地消に関する事例として、神奈川県小田原市を取り上げている。 ・条例制定の具体的な事例、プラスチックの海洋汚染について、神奈川県大和市、鎌倉市を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章に「章の問い合わせ」、節ごとに「節の問い合わせ」を示している。 ・章末の「章のまとめをしよう」のページで、各節の問い合わせをまとめて章の問い合わせの解決を行うように設定している。 ・動画やポートフォリオ等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・卷頭では、持続可能な社会との関連を示すSDGsの説明と、日本や世界各地の取組を写真で掲載している。	・見開きの左下に小学校の学習や、地理、歴史の学習との関連を示すマークを掲載している。 ・他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
225 自由社	新しい公民教科書	・課題の解決に向けて、章の始めに章の課題、見開きで学習課題を設定し、「学習のまとめと発展」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・終章で、「課題の探求」を掲載し、持続可能な社会を目指し、現代社会の問題について考えを伝えることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、課題について既習を生かして文章で表現する工夫をしている。	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を確認するために、章末の「学習のまとめと発展」で、重要語句を確認する「学習のまとめ」を設けている。 ・見開きページの内容に応じて、話し合い活動、調べる活動、まとめの活動等を促す課題を示した「やってみよう」を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめと発展」の「学習の発展」で、自らの考えを400字程度で記述する課題を設けている。 ・「アクティブに深めよう」で、社会的な課題を取り上げ、様々な立場を踏まえて、事象に対して考察する学習活動を設けている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味、関心を高めるために、「ミニ知識」というコラムや写真等の資料を提示している。 ・巻末では、世界に誇る日本の技術や伝統文化を調べるために、「職人の技が生み出した日本の伝統工芸品」を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば自分たちの住むまちがよりよくなるかを考える活動を示した、「魅力あるまちづくりを考えよう」を掲載している。 ・終章の「課題の探求」で、「持続可能な社会」「温室効果ガス排出削減」について考える探究活動例を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の始めに章の課題を示している。 ・章末に発展的な学習課題を提示し、まとめる活動ができるような活動を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭では、公民の学習との関連を示すために、「すごいぞ 日本の技術は 世界に誇る日本の先端技術」を記載している。 	・見開きの右下に学習課題に対する学習内容を整理した「ここがポイント」を掲載している。 ・12の人物キャラクターが疑問や気付きを投げかける吹き出しを掲載している。
227 育鵬社	新しいみんなの公民	・公民の学習への関心がもてるように、「章の課題」「節の課題」「学習課題」を設定し、「○○のこれから」「学習のまとめ」で理解を深める活動を掲載する工夫をしている。 ・巻頭、第5章、巻末でSDGsの目標や取組を示し、持続可能な社会について考えることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめで、既習を生かして課題について意見をまとめる工夫をしている。	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着を図るために、章末の「学習のまとめ」で、重要語句の確認や問題に対する自分の考えをまとめる活動を設けている。 ・必要な情報の収集や資料の読み取り、まとめの技能育成を図るために、「資料活用」を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを生かして考えることができるよう、「○○のこれから」で、章の課題について考察する学習活動を掲載している。 ・各章末の「学習のまとめ」で、現代社会の見方・考え方を働きかせて、社会に見られる課題について考える問題を示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」で、ディベートやシミュレーションなどを通じて社会参画や自己の将来を考える活動を掲載している。 ・「学習を深めよう」で、世界の人権問題や防災・減災を通じた社会参画等、現代社会の課題への具体的な取組を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生社会や海洋プラスチックの問題の事例として、神奈川県横浜市の取組を掲載している。 ・巻頭に公民の学習の導入としてSDGsの目標と具体的な事例、巻末に持続可能な社会を目指した事例を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の始めに章の学習内容、各節の課題を示している。 ・章末に単元で学習したことを生かしてまとめる活動を設定している。 ・動画サイトが見られる二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭では、公民の学習との関連を示すために、SDGsに関する日本や世界の現状や取組の写真を掲載している。 	・見開き左側に地理・歴史で学習した内容との関連を示すマークを掲載している。 ・他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

地図

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編新しい社会地図	・卷頭で「この地図帳の活用方法」を掲載し、地図の活用法や「ヒントとなる問い合わせ」を示した「Bee's eye」を配置する工夫をしている。 ・SDGsについて説明した特集ページや関連する資料を掲載し、現代的な諸課題を調べることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、現代的な諸課題に関する主題図や写真資料等を掲載し、探究課題で活用できるように工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「この地図帳の活用方法」で地図帳の活用方法を示し、一般図、主題図、グラフ等の資料の読み取り方、地図帳の活用方法につながる問い合わせを示した「Bee's eye」を掲載している。 ・地域の諸事象や地域的特色が分かるように、農産物や工業製品等をイラストを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題解決のため、世界の各州や日本の各地方の概観に役立つ、地形や気候、土地利用などの主題図等のページを設けている。 ・諸地域の学習で探究課題に沿った学習をする際に活用できるよう、各地域の主題図や項目に合わせた資料を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・社会的事象を多面的・多角的に考察し、社会科各分野の学習との関連が分かるよう、「歴史・公民マーク」を付けて示している。 ・「ミツバチーズ」というキャラクターに吹き出しを設け、資料の読み取りのポイントや考察の視点等を示している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsに関わる、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題といった現代社会の諸課題を扱う特設ページを設けている。 ・SDGsに関する、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題といった現代社会の諸課題を扱う特設ページを設けている。 ・関東地方の資料で、「東京の歴史と治水」において、川崎市や二ヶ領用水を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・学習の広がりを持たせるため、関連する資料の参照ページを「ジャンプ」で示している。 ・歴史学習で活用できるように、江戸の鳥瞰図や主題図等を掲載している。 ・デジタル地球儀「My Globe」、「Bee's eye」の解答例、統計資料等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・統計資料では、学習や主題図と関連して調べやすいように、世界や日本の統計情報をまとめ、掲載している。	・世界の地域を表す2000万分の1の地図では海底から陸地までを15段階で色分けしている。 ・日本の一般図の縮尺を100万分の1に統一し、陸地の高さを10段階と市街地で色分けして示している。
46 帝国	中学校社会科地図	・卷頭で「この地図帳の使い方」を掲載し、地図活用の技能や見方・考え方を働かせる問い合わせを示した「地図で発見！」を配置する工夫をしている。 ・「地図で考える持続可能な社会」を掲載し、主題図や資料でSDGsについて調べることができる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、資料ページに「主題学習」を掲載し、課題をもって地域の特色を調べることができるよう工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「この地図帳の使い方」で地図帳の活用方法を示し、学習活動を通して地図活用の技能が身に付くよう、地理的な見方・考え方を働かせて考える「地図で発見！」を掲載している。 ・各国の州や地域の特色が分かるように、イラストを合わせた鳥瞰図を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題解決のため、世界や日本の自然環境、人口密度等、日本との結びつきに関する主題図を国や州ごとに同縮尺で掲載している。 ・世界や日本に関する各地域の特色を多面的・多角的に考察することができるよう、資料ページに「主題学習」を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の自然災害や防災について、被害や備えについて調べることができる資料を掲載している。 ・世界や日本の諸地域の学習で活用できるよう、世界の各州や日本の各地方の人口や産業などの主題図を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsの観点に基づき、世界各地の環境問題や、持続可能な社会に向けた取組を写真等で紹介した特設ページを設けている。 ・関東地方の資料で、「東京都周辺の地形」において、川崎市や二ヶ領用水を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・国土地理院の地形図を取り上げ、地形図の活用を示したコーナーを設けている。 ・歴史学習で活用できるように、五街道を示した地図や主題図等を掲載している。 ・地図活用のアニメーション、「地図で発見！」の解答・解説、統計資料等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・統計資料では、学習や主題図と関連して調べやすいように、世界や日本、自然の統計情報をまとめ、掲載している。	・世界の地域を表す2000万分の1の地図では海底から陸地までを14段階で色分けしている。 ・日本の地方別地図を100万分の1に統一し、陸地の高さ4段階と五つの土地利用で色分けをしている。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

数学

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい数学 1 ~MATH CONNECT 数学のつながり~ 新編 新しい数学 2 ~MATH CONNECT 数学のつながり~ 新編 新しい数学 3 ~MATH CONNECT 数学のつながり~	・卷末に「数学の目でふり返ろう」を掲載し、数学的な見方・考え方を働かせて学習のつながりについて考えられる工夫をしている。 ・章の導入では日常生活につながりのある事象を取り上げ、学ぶ必要性を感じられる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、章の導入では日常に関連した事象から、対話的活動を通して問題を見いだすことができるようキャラクターの会話で促し、章の後半の活用場面では、問題をつかみ、見通しを立て、問題を解決し、振り返り、深める、という「数学の学び方」を示す工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、「問」の他に基礎的内容を確認する「クリックチェック」を設定している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、卷末に「学びのベース」を設定している。 ・数学的な見方・考え方として、数学的活動の後に、大切にしたい考え方を「虫眼鏡マーク」で示している。 【学びに向かう力・人間性等】 ・日常と関連した事象について、自分の考えをもち根拠を説明する「活用の問題」を章末に設けている。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じた学習ができるよう、章末問題は「章の問題A」「章の問題B」「活用の問題」に分けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・課題の「Q」について①、②、と段階的にステップを設けている。 ・卷末の「数学の目でふり返ろう」は、既習の内容や数学的な見方・考え方を用いて学習する構成にしている。 【分量・装丁】 ・B5判にしている。 ・表紙はイラストを描いている。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターの吹き出しで、学びを深めるための視点を提示している。
4 大日本	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3	・卷頭で9つの見方・考え方について例を挙げて説明し、数学的な見方・考え方を働かせて学習できる工夫をしている。 ・「MATHFUL」や「社会にリンク」を設定し、数学と身の回りの事象や実社会とのつながりを感じられる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、章の導入では日常に関連した事象から、対話的活動を通して問題を見いだすことができるようキャラクターの会話で促し、章の後半の活用場面では、問題を見いだし、解決方法を探り、解決し、深める、という「問題発見・解決の流れ」を示す工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、「Q」(問題)の他に少し発展させた問題「プラス・ワン」を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、章の中に「思い出そう」を掲載している。 ・数学的な見方・考え方として、卷頭に例を挙げ一覧で掲載し、問題の発見や解決のための考え方を示している。 ・複数の解き方を比べたり、それぞれの良さを考えたりする「伝えよう」「判断しよう」の問を設けている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう実社会や日常生活とのつながりを取り上げている。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて取り組めるよう、節、章、巻末に「たしかめよう」「〇章をふりかえろう」「補充問題」を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題解決の場面では、生徒が自ら解決できるよう「問題を見い出す→解決の仕方を探る→解決する→深める」の過程に沿って構成している。 ・理解を深めるためのアニメーションや動画を二次元コードから見られるようにしている。 【分量・装丁】 ・B5判にしている。 ・表紙は数学との関連を連想させるミニチュア写真を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・生徒がもつ問い合わせや数学的な見方・考え方の深まりを虫眼鏡のマークやキャラクターの吹き出しで表している。
11 学図	中学校 数学 1 中学校 数学 2 中学校 数学 3	・卷末で8つの見方・考え方について例を挙げて説明し、章の中でも内容に応じて考え方を示し、数学的な見方・考え方を働かせて学習できる工夫をしている。 ・章の導入で既習の振り返りや日常と関連した事象を取り上げ、既習とのつながりや学ぶ必要性を感じられる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、章の導入では日常に関連した事象から、対話的活動を通して問題を見いだすことができるようキャラクターの会話で促し、活用の場面では、問題を見つけ、予想し、解決し、新たな問題を見つける、といった活動を具体的に示す工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、式の計算や方程式の章で「計算力を高めよう」を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、章の中では「ふりかえり」を二次元コードで掲載している。 ・数学的な見方・考え方として、巻末に例を挙げ一覧で掲載し、数学的活動の後にその考え方を示している。 【学びに向かう力・人間性等】 ・日常や社会に関連した事象について、その章で学習したことを生かして考える「深めよう」を巻末に設けている。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて学習できるよう、章末問題は「基本」「応用」「活用」に分けて設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で何ができるようになったか自己評価するコーナーを設けている。 ・「Question」では、キャラクターの吹き出しが課題について考える視点を示し、主体的に問題解決していく構成にしている。 【分量・装丁】 ・B5判にしている。 ・表紙は数学との関連を連想させる模様を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターの吹き出しで、対話的活動を促したり、問題解決のためのヒントを提示したりしている。
17 教出	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	・卷頭で9つの見方・考え方について例を挙げて説明し、活用の場面では、その際に使う考え方を巻頭と同じ言葉で示し、数学的な見方・考え方を働かせて学習できる工夫をしている。 ・章の導入で既習の振り返り、実社会、日常と関連した事象を取り上げ、既習とのつながりや学ぶ必要性を感じられる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、章の導入では日常に関連した題材から、対話的活動を通して問題を見いだすことができるようキャラクターの会話で促し、章の後半の活用場面では、問題を見出し、つかみ、見通しを立て、解決し、振り返り、深める、という「学びのプロセス」を示す工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、例と「問」の間に段階を設け、例に類似した問題「たしかめ」を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を「もどって確認」を「学びのマップ」と結びつけ示している。 ・数学的な見方・考え方として、例を詳しく挙げ一覧で巻頭に掲載し、数学的活動の後にその考え方を示している。 【学びに向かう力・人間性等】 ・比べて考えたり解き方を説明したりする「問」や、章の内容を日常に生かす「学んだことを活用しよう」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて取り組めるよう、章末問題は「学習のまとめ」「たしかめよう」「力をのばそう」に分けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入「Let's Try」は、生徒の生活に身近な題材で、対話的活動から問い合わせ問題解決していく構成している。 ・他者に考えを説明する活動を充実させる場面を、「みんなに説明しよう」「話し合ってみよう」などのマークで示している。 【分量・装丁】 ・B5判にしている。 ・表紙は数学との関連を連想させる模様やその写真を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターの吹き出しで、対話的活動を促したり、問題解決のためのヒントを提示したりしている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へひろがる 数学 1 未来へひろがる 数学 2 未来へひろがる 数学 3	・巻頭で2つの例を挙げて「大切な考え方」を説明して全部で8つの考え方を示し、活用の場面では、その際に使う考え方を巻頭と同じ言葉で示し、数学的な見方・考え方を働かせて学習できる工夫をしている。 ・章の導入では日常生活につながりのある事象を取り上げ、学ぶ必要性を感じられる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、章の導入では日常に関連した事象から、対話的活動を通して問題を見いだすことができるようキャラクターの会話を促し、章の後半の活用場面では、問題を設定、見通しを立て問題を解決、振り返って深める、という「問題発見・解決の流れ」を示す工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、段階を設けて「例」、「例題」、「問」を掲載している。 ・知識の系統的な習得のために、巻末に既習を復習する問題「学びをふりかえろう」を設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数学的な見方・考え方として、巻頭に「たいせつな考え方」の例を示し、章の中で使う考え方をマークで示している。 ・問題を解く方針を説明したり、学習したことをまとめたりする「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性を感じられるよう実社会や日常生活とのつながりを取り上げている。 ・「数学ライブラリー」では、章の内容に関連した雷の音と光の関係などのコラムを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて取り組めるよう、章末問題では「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題解決の過程では、問題の発見、解決の流れを、3つのステップで考えられるよう構成している。 ・章の導入では、数学が日常生活や現実社会で有用で生活を豊かにすると実感できるよう、身の回りの事象を掲載している。 【分量・装丁】 ・B5判にしている。 ・表紙は数学との関連を連想させる模様を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターの吹き出しで、数学的な見方・考え方のキーワードを示したり、注意を喚起したりしている。
104 数研	これから の学 1 これから の学 2 これから の学 3	・章の導入や章の中で「ふりかえり」を設定し、既習の知識・技能と新しい内容を関連付けて学習できる工夫をしている。 ・章の導入で既習の振り返りや日常生活と関連した事象を取り上げ、既習とのつながりや学ぶ必要性を感じられる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、章の導入では日常に関連した事象から、対話的活動を通して問題を見いだすことができるようキャラクターの会話を促し、章の後半の活用場面では、日常生活に関わる事象について具体的な場面等の写真を添えて掲載してイメージしやすくする工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、補充用の問題に二次元コードから接続できる「Link補充」を設定している。 ・知識の系統的な習得のために、巻末に「中学〇年までのまとめ」を章の内容ごとに設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・巻頭に「数学的な見方・考え方」を一覧で掲載し、常に意識してほしい考え方として示している。 ・日常と関連した事象について、自分の考えをもち根拠を説明する「学んだことを活用しよう」を章末に設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性を感じられるよう実社会や日常生活、先端テクノロジーとのつながりを取り上げている。 ・巻末の「数学旅行」に、数学を生かして仕事をしている人のインタビュー記事を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて取り組めるよう、章末の問題に基礎的な「問題A」と発展的な「問題B」を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・対話的学びを充実させるよう、方法、理由などを説明せる「問」や、考え方を他者に伝える機会を設定している。 ・キャラクターの会話から、理解を深めるきっかけとなる疑問が投げかけられている。 【分量・装丁】 ・B5判にしている。 ・表紙は数学との関連を連想させる模様を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターの吹き出しで、対話的活動を促したり、問題解決のためのヒントを提示したりしている。
116 日文	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	・巻頭で見方・考え方について説明し、数学的活動の場面では、その際に使う考え方を示し、数学的な見方・考え方を働かせて学習できる工夫をしている。 ・章の導入で既習の振り返りや日常と関連した事象を取り上げ、既習とのつながりや学ぶ必要性を感じられる工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、章の導入では日常に関連した事象から、対話的活動を通して問題を見いだすことができるようキャラクターの会話を促し、章の後半の活用場面では「学び合おう」を設定し、数学の問題として捉え、考え、話し合い、振り返り、深める場面を示す工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、「考えよう」「深めよう」などと記した、対話的活動を促す「問」設定している。 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を吹き出しで掲載し、前の学年の学習との関連を示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数学的な見方・考え方を、章の中の問題解決の場面などで「大切な見方・考え方」のマークで示している。 ・既習を生かして自分の考えを持って説明する「説明できるかな?」の問題を章末に設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性を感じられるよう実社会や日常生活とのつながりを取り上げている。 ・キャラクターの吹き出しで、主体的に学習に取り組むことを促している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて学習できるよう、巻末に「補充問題」、「活用の問題」を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の内容を日常生活につなげるような事象を対話形式で示している。 ・「学び合おう」では、問題解決型の学習を5つの段階を追って進められるよう示し、協働的な学びが展開できるよう巻末に「対話シート」を掲載している。 【分量・装丁】 ・B5判にしている。 ・表紙は数学との関連を連想させる写真を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターの吹き出しで、対話的活動や、既習とのつながり、学習内容の確認を促している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

理科

発行者 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい 科学 1 新編 新しい 科学 2 新編 新しい 科学 3	・探究を通して資質・能力を育成できるよう、巻頭に「『探究』の流れを確認しよう」のページを設定する工夫をしている。 ・単元の導入に、学習内容と関連する動画を二次元コードで掲載し、学習の見通しをもてるよう工夫している。 ・探究した内容を振り返ったり活用したりして、学びが生活や社会に広がるよう工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を確認できるように、各ページの脚注に「学びのフローチャート」を示す工夫をしている。日常生活や社会との関連を重視するため、「社会につながる科学」を設定している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「学習内容の整理」「確かめ問題」を掲載している。 ・器具の操作や実験手順について、二次元コードから操作説明を確認する工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究の過程を「問題発見」「?(課題)」「仮説」「構想」「観察・実験」「分析・解釈」「検討・改善」「!(結論)」「ふり返り」「活用」で構成し、各単元に「じっくり探究」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単元や章の扉には、学習内容を想起する「スタート動画」を掲載している。 ・単元の始めと終わりに、学習の前後で同じ問いかけをする「Before & After」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・学習内容に関連した「私たちのSDGs」を掲載している。 ・職業に就いている人の仕事を、学習内容と関連付ける「お仕事図鑑」を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、問い合わせや探究を進めるヒントを例示している。 ・単元末に「社会につながる科学」のページを設定している。 ・他教科の学習と関連のある内容には、「○○で学ぶこと」のマークを設定している。 【分量・装丁】 ・第1学年は262ページで構成している。 ・第2学年は314ページで構成している。 ・第3学年は326ページで構成している。 ・AB判にしている。 ・第2学年の巻末にペーパークラフトを綴じている。	・本文などの主要部分には、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・理科用語は、黒の太字で表している。 ・注意が必要な活動には、注意マークのアイコンで示す工夫をしている。 ・内容を記した二次元コードを随所に掲載している。
4 大日本	理科の世界 1 理科の世界 2 理科の世界 3	・探究を通して資質・能力を育成できるよう、巻頭に「理科の学習の進め方」のページを設定する工夫をしている。 ・単元の導入に「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を掲載し、学習の見通しをもてるよう工夫している。 ・学習内容を日常生活等と関連付け、理科を学ぶ有用性を実感するよう工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の中で考えを深める場面には、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」などのマークを示す工夫をしている。日常生活や社会との関連を重視するために、「くらしの中の理科」を設定している。	【知識及び技能】 ・章末に、「章末問題」を、単元末に「まとめ」「単元末問題」を掲載している。 ・器具の操作について、「基本操作」と二次元コードの動画で示す工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・考えを深める場面として、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」「話し合おう」で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単元の始めに、「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を掲載している。 ・単元末に、「探究活動」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・終章では、持続可能な社会にする方法について話し合う場面を設定している。 ・理科に関連する職業を取り上げる「Professional」を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、問い合わせや予想などを例示している。 ・単元末に「つながる×Science Press」のページを設定している。 ・巻末に、「理科の学習と算数・数学」を設定している。 【分量・装丁】 ・第1学年は294ページで構成している。 ・第2学年は318ページで構成している。 ・第3学年は374ページで構成している。 ・B5判にしている。	・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・理科用語は、黒のゴシック体で表している。 ・注意が必要な活動には、「注意マーク」とともに色囲みで内容を示す工夫をしている。 ・タブレットマークと二次元コードを複数掲載している。
11 学図	中学校 科学 1 中学校 科学 2 中学校 科学 3	・探究を通して資質・能力を育成できるよう、巻頭に「探究の手法」や「探究の進め方」のページを設定する工夫をしている。 ・単元の導入に「振り返ろう・つなげよう」「Can-Do-List」を掲載し、単元の学習の見通しをもてるよう工夫している。 ・学習内容をSDGsと関連付け、持続可能な社会を意識するよう工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を意識できるように、ページの左端に探究の場面を文字とアイコンで示す工夫をしている。日常生活や社会との関連を重視するために、章の扉に学習内容に関連するSDGsのアイコンを掲載している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「学習のまとめ」と「単元末問題」を掲載している。 ・器具の操作について、巻末の「基本操作」と二次元コードの動画で示す工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究の過程を「気づき」「課題設定」「仮説」「検証計画」「観察・実験」「結果」「考察」「振り返り」で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・巻頭の「なぜ理科を学ぶの?」では、科学的に探究することの意味について掲載している。 ・単元の始めに、「学びのあしあと」や「Can-Do-List」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・各章の扉にはSDGsマークを、補充資料にはSDGsや脱炭素社会について掲載している。 ・働く人を紹介する「学習内容と仕事」を、後ろ見返しに設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、探究のヒントや教師の発話などを例示している。 ・学びを深める「理路整然」のコーナーを随所に設定している。 ・数学と関連する内容には、「つながり数学」のマークを設定している。 【分量・装丁】 ・第1学年は264ページで構成している。 ・第2学年は304ページで構成している。 ・第3学年は304ページで構成している。 ・AB判にしている。	・すべての文字にユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・理科用語は、ゴシック体で表している。 ・注意が必要な活動には、赤地に白字で「注意!!」マークを表示し、色囲みに赤字で内容を示す工夫をしている。 ・二次元コードを、全ページの上部に掲載している。
17 教出	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3	・探究を通して資質・能力を育成できるよう、巻頭に「探究の進め方」のページを設定する工夫をしている。 ・単元の導入に「学んでいくこと」を掲載し、学習の見通しをもてるよう工夫している。 ・学習内容を振り返ったり、日常生活に関連付けたりして、学びを広げたり、次の探究につなげたりするよう工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を意識できるように、巻頭に「探究の進め方」を折り込みで示す工夫をしている。日常生活や社会と関連する内容を、「ハローサイエンス」の中で掲載している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」を掲載している。 ・器具の操作について、「基礎技能」と二次元コードによる動画で示す工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究の過程を「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」「計画を立てる」「観察する・実験する」「考察する」「結論を示す」で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・巻頭の「探究とは」では、探究の進め方について掲載している。 ・章の始めに「学習前の私」を、章末に「学習後の私」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsの17のアイコンを、巻頭に掲載している。 ・科学に関する専門家を紹介するコーナーを、巻頭に設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・複数のキャラクターの吹き出しで、課題や仮説などを例示している。 ・単元末に「広がる科学の世界」のページを設定している。 ・他教科の学習と関連する内容について、「プリッジ算数」などのマークを設定している。 【分量・装丁】 ・第1学年は291ページで構成している。 ・第2学年は315ページで構成している。 ・第3学年は347ページで構成している。 ・AB変型判にしている。	・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・理科用語は、太い色文字で表している。 ・注意が必要な活動には、「禁止」や「注意」のマークと文で内容を示す工夫をしている。 ・内容を記した二次元コードをページの下部の随所に掲載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へひろがるサイエンス 1 未来へひろがるサイエンス 2 未来へひろがるサイエンス 3	・探究を通して資質・能力を育成できるよう、巻頭に「探究とは」「ICTの活用」のページを設定する工夫をしている。 ・単元や章の導入に二次元コードによる動画や「ふり返りシート」を掲載し、学習の見通しをもてるよう工夫している。 ・探究した内容を振り返り、生活や社会に活用して、学びを深めたり、新たな探究につなげたりするよう工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を意識できるように、ページ左端に探究の過程を線で繋いで示す工夫をしている。巻末に「探Qシート」や「探Qラボ」を折り込みで示している。日常生活や社会との関連を重視するため、「部活ラボ」「お料理ラボ」「防災減災ラボ」などを掲載している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「学習のまとめ」やCBTに対応した「動画でチャレンジ」などを掲載している。 ・器具の操作について、「サイエンス資料」と二次元コードによる動画で示す工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究の過程を「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「表現」「ふり返り」で構成し、単元に「探Q実験」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・章の始め「はてなスイッチ」では、二次元コードから学習内容を想起する動画を設定している。 ・単元の始めに「学ぶ前にトライ！」を、単元末に「学んだ後にリトライ！」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsとの関連を示す題材にSDGsマークを付け、巻末には資料集を設定している。 ・キャリア教育と関連する「お仕事ラボ」を複数設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、探究を進めるヒントを例示している。 ・随所に「考えてみよう」や「Action活用してみよう」のコーナーを設定している。 ・他教科等との関連として、「算数・数学と関連」のマークや「STEAM探究」のページを設定している。 【分量・装丁】 ・第1学年は300ページで構成している。 ・第2学年は324ページで構成している。 ・第3学年は356ページで構成している。 ・AB判にしている。 ・巻末に「探Qシート」を折り込んでいる。	・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・理科用語は、黒の太字ゴシック体で表している。 ・注意が必要な活動には、8種類の「安全マーク」と説明、黄地に赤字の「注意」マークと文を示す工夫をしている。 ・内容を記した二次元コードを随所に掲載している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

音楽(一般)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽 1 音楽 のおり もの 中学音楽 2・3 上 音楽の おりもの 中学音楽 2・3 下 音楽の おりもの	・曲の特徴を音楽を形づくっている要素ごとに比べたり、自分の考えを書き込んだりするコーナーを設け、それをもとに友達と協働しながら学習する手立てを示すなど、主体的・協働的な学びを充実させるための工夫をしている。 ・我が国や世界の多様な音楽に触れ、音楽文化の共通性や固有性を感じ取るなど、生活や社会の中の音や音楽に関心をもつための工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統音楽、郷土の民謡や芸能、歌唱共通教材、諸外国の音楽等を掲載し、我が国や郷土、諸外国の音楽文化を尊重する態度を養う工夫をしている。	【知識及び技能】 ・音楽を形づくっている要素を解説し、それらの働きを意識しながら鑑賞するコーナーを設けている。 ・技能の定着を図るために、姿勢や息のコントロール、言葉の発音等、歌うためのワンポイント・アドバイスを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくっている要素の視点で曲の特徴について考えるポイントを示している。 ・教材を比較して学習を進め、特徴を書き込む欄やそれをもとに話し合う手立てを示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各教材に「学習目標」や「具体的な学習活動」を示したり、「学習したことを生かして比較する活動」を掲載したりしている。 ・「アウトーチ」や「著作権」など、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化について扱うコーナーを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・友だちとの関わりの中で学習を進める活動やSDGsに関連する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターを活用して学習の流れを示したり、教材を比較して学ぶためのコーナーや学び合うための活動例を示すコーナーを設けたりしている。 ・冒頭に領域や分野ごとの教材を示した「学習MAP」を掲載し、各教材に学習目標や学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・巻末の折り込みは厚い紙を使用している。	・学習目標の帯の色を歌唱・創作・鑑賞で色分けしている。 ・歌唱共通教材は、「日本の歌、みんなの歌」として、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には注釈を加え、情景を想像するための写真を掲載している。
27 教芸	中学生の 音楽 1 中学生の 音楽 2・3 上 中学生の 音楽 2・3 下	・教材ごとに「音楽を形づくっている要素」を示し、課題意識をもって友達と協働しながら学習する手立てや、考える視点を例示するなど、主体的・協働的な学びを充実するための工夫をしている。 ・我が国や世界の多様な音楽に触れ、その特徴を感じ取ったり、生活や社会の中の音や音楽と自分たちとのつながりを実感したりするための工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽、歌唱共通教材、諸外国の音楽文化を扱った教材を掲載し、我が国や郷土、諸外国の音楽文化を尊重する態度を養う工夫をしている。	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造などの関わりについて理解を促すためにキャラクターを活用している。 ・創意工夫を生かした表現を行うために必要な技能を身に付けるための手立てを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各教材に思考・判断のよりどころとする主な音楽を形づくっている要素を示し、巻末に各要素について確認するコーナーを設けている。 ・キャラクターを活用して思考を促すヒントや考えるきっかけを示し、その視点で学習を進めるコーナーを設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各教材に「学習目標」「具体的な学習活動」「考えたいポイント」「音楽を形づくっている要素」を示している。 ・「仕事と音楽」や「著作権」、「社会を映し出す音楽」など、生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化について扱うコーナーを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・友だちと対話したり協働したりしながら学習を進める活動やSDGsに関連する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各教材の横に、音楽的な見方・考え方を働きかせて学習するために考えたいポイントを示したり、キャラクターや吹き出しを活用して思考を促すための手立てを示したりしている。 ・冒頭に資質・能力と、それに対応した学習内容や教材を示し、各教材に目標とする学習内容や思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素を示している。 【分量・装丁】 ・全体を通して同じ紙質、綴じ方にしている。	・各教材のページの色を歌唱・創作・鑑賞で色分けしている。 ・歌唱共通教材は、「心の歌」として、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には注釈を加え、情景を想像するための写真を掲載している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

音楽(器楽合奏)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学器楽音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> 題材ごとに「学びのねらい」、「活動のポイント」、「まとめの曲」を掲載したり、友達と意見を交流するコーナーを設けたりして、主体的・協働的な学びを充実させるための工夫をしている。 和楽器や諸外国の楽器を比較し、音楽文化の共通性と固有性を考えるコーナーを設け、多様な音楽文化と関わるために工夫をしている。 	<p>・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統的な音楽を扱った教材や我が国と諸外国の楽器を比較する教材を掲載し、我が国の伝統と文化、他国を尊重する態度を養う工夫をしている。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各楽器の音色と奏法との関わりや曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解を促すコーナーを掲載している。 基礎的な奏法の習得に向け、姿勢と構え方、奏法や運指について、文章やイラスト、写真を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターや吹き出しを活用して、楽器を創意工夫して演奏する際のアドバイスや解説などを示している。 器楽の学習を生かし、鑑賞の領域と関連付けながら共通点や相違点を考えたり、創作の活動に取り組んだりするコーナーを掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸外国の音楽文化やストリート・ピアノなど、生活の中にある様々な音や音楽、音楽文化への関心を促すコーナーを設けている。 学習したことを生かして、さらに発展的に取り組むための「深めてみよう」のコーナーを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を友達と共有する学習や、アンサンブルの教材など、友達と協働的に学習を進める教材を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材名を各楽器のページの見開きに示し、各教材に学習目標を示している。 各楽器の学習は、楽器の歴史や種類、基本的な奏法、練習曲で構成し、それを生かして合奏する「合わせて演奏しよう」や「名曲旋律集」を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卷末の折り込みは厚い紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 箏の楽譜は、すべての曲を五線譜で示し、和楽器固有の楽譜を別のページに掲載している。 楽器の特徴や奏法を示すため、楽器や奏者を様々な角度から撮影した写真、楽器全体と細部の写真を掲載している。
27 教芸	中学生の器楽	<ul style="list-style-type: none"> 教材に「学習目標」や「学習活動」、「考えたいポイント」や「音楽を形づくっている要素」を示したり、曲に対する自分の考えをもち、友達と意見交流するコーナーを設けたりして、主体的・協働的な学びを充実させるための工夫をしている。 我が国や諸外国に伝わる音楽や楽器に触れ、そのよさや特徴を感じ取りながら、表現活動に取り組み、多様な音楽文化と関わるために工夫をしている。 	<p>・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国や郷土の伝統的な音楽や楽器、諸外国の音楽で使用する楽器を掲載し、我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めるとともに、多様な音楽文化に対する興味・関心を高める工夫をしている。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各楽器の音色と奏法との関わりや曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解を促すコーナーを掲載している。 基礎的な奏法の習得に向け、姿勢と構え方、奏法や運指について、Q&Aのコーナーや文章、イラストや写真を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターや吹き出しを活用して、音楽を形づくっている要素について知覚・感受し、それをもとに創意工夫を考えるためのヒントを示している。 器楽の学習を生かし、課題や条件に沿って音で確認しながら創作の学習を進める手立てを示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の祭りや芸能、バンドのスコアなど、生活の中にある様々な音や音楽、音楽文化への関心を促すコーナーを設けている。 音楽活動の楽しさを体験するために、多様な楽器編成に対応した編曲の教材を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲に対する自分の考えをもち、友達との意見交流を行う学習や、協働しながら学習を進める教材を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冒頭に資質・能力と、それに対応した学習内容を示し、各教材に学習目標や学習活動、音楽を形づくっている要素を示している。 各楽器の学習は、鑑賞曲、楽器の歴史や種類、基本的な奏法、練習曲で構成し、それを生かして学習を進める「アンサンブルセミナー」や「学びのコンパス」、「楽器でMelody」を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を通して同じ紙質、綴じ方にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 箏の楽譜は、すべての曲を和楽器固有の楽譜で示し、必要な部分には同じページ内に五線譜を掲載している。 楽器の特徴や奏法を示すため、楽器や奏者を様々な角度から撮影した写真、楽器全体と細部の写真を掲載している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

美術

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	美術 1 美術 2・3	・共通事項について「知識」や「美術の用語」を示し、全体のイメージや作風などに着目できるように工夫している。 ・表現と鑑賞の学習を関連させられるように、「鑑賞」、「発想・構想」、「知識・技能」の順番で小見出しを構成し、鑑賞したことを生かしながら発想して構想を練り、表現できるように工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の美術や美術文化を多種多様に掲載し、身近な視点から美術や美術文化について理解できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・共通事項や表現の工夫について考えられるように、「知識・技能」を小見出しで示している。題材によっては共通事項や美術に関する用語を意識できるように、「美術の用語」に示している。 ・表現方法や材料・用具の使い方について分かるように、「学びの資料」を各巻末に掲載している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・表したいことを見つけたり感じ方を広げたりできるように、吹き出しで示している。 ・作品全体と筆のタッチを感じ取れるように、縮小した全体図版と一部分を拡大した原寸大図版を掲載している。 【学びに向かう力・人間性等】 ・学習全体の見通しをもって取り組めるように、「美術ではこんなことを学ぶよ」を掲載している。 ・学んだことを生かしてこれからの自分や社会のことについて考えられるように、「美術と私と社会」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域との交流や共同するよさに気付くように、共同作品や地域での活動を「共に学ぶ美術」に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・導入や技法の動画、作品やワークシート等の資料が見られる二次元コードを掲載している。 ・表現と鑑賞を関連させて学習できるように、「鑑賞」、「発想・構想」、「知識・技能」の順番で小見出しを構成している。 【分量・装丁】 ・A4ワイド判で、学習指導要領で示された学年区分に合わせて2分冊にしている。 ・表紙は西洋美術作品とし、質感が感じられるよう凹凸を付けている。	・色彩と光に関する資料では、三原色について示すとともに、見え方の違いが少なくなるように、黄色を使って明度と彩度の変化を示している。
38 光村	美術 1 美術 1 資料 美術 2・3	・共通事項について「POINT」を示し、造形を豊かに捉えるための視点を養うことができるよう工夫している。 ・表現と鑑賞の学習を関連させられるように、「鑑賞」、「表現(発想・構想)」、「鑑賞」の順番で小見出しを構成し、鑑賞したことを生かしながら表現し、最後に鑑賞でまとめられるように工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の美術作品を鑑賞する題材や、全国の伝統工芸を掲載し、日本の伝統文化を理解できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・共通事項や表現の工夫について考えられるように、「POINT」や吹き出しを示している。 ・技法や用具の取り扱い方について分かるように、別冊資料にまとめている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・題材によっては、生徒が表したいことや表現の工夫、詳細な制作過程をまとめた「みんなの工夫」を掲載している。 ・本物の雰囲気に近づけた図版で鑑賞できるように、和紙のような紙に浮世絵や絵巻物を原寸大で掲載している。 【学びに向かう力・人間性等】 ・絵や彫刻に表現する学習の見通しが持てるように、作品の見方や表現の工夫について「『絵や彫刻』の世界」に掲載している。 ・美術の力や働きについて学習を振り返って考えられるように、「美術の力」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・人と人をつなぎよりよい未来を生み出すきっかけとなるように、共同作品やSDGsに関わる作品を「私たちに問いかける美術」に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・生徒のインタビューや技法等の動画、作品等の資料が見られる二次元コードを掲載している。 ・4ページで示されている表現題材では、表現と鑑賞を関連させて学習できるように、「鑑賞」、「表現(発想・構想)」、「鑑賞」の順番で小見出しを構成している。 【分量・装丁】 ・A4ワイド判で、学習指導要領で示された学年区分に合わせて2分冊にし、技法等を別冊にまとめている。 ・表紙は西洋美術作品と日本美術作品、資料の表紙は現代作家が制作した作品を掲載している。	・色の仕組みの資料では、補色と色立体について示すとともに、明度と彩度の変化が分かりやすくなるように、赤色を使って示している。
116 日文	美術1 美術との出会い 美術2・3 上 学びの実感と深まり 美術2・3 下 学びの探求と未来	・共通事項について「造形的な視点」を示し、題材で着目したい共通事項や考えさせたい効果等に気付くことができるよう工夫している。 ・表現と鑑賞の学習を関連させられるように、「鑑賞の入り口」で考えさせ、「表現のヒント」を活用しながら発想して構想を練り、表現につなげられるように工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統文化に関わる題材や、伝統工芸、美術作品等を掲載し、伝統文化を理解できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・共通事項や表現の工夫について考えられるように、「造形的な視点」を示している。 ・技法や用具の扱い方について分かるように、「学びを支える資料」を各巻末に掲載している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・表したいことを見つけて表現を工夫できるように、表現方法や技能の補足を「表現のヒント」に示している。 ・本物の作品を鑑賞していることに近づけるために、浮世絵の図版を観音開きのページに原寸大で掲載している。また、屏風の特徴を実感できるように、折り曲げて鑑賞できる図版を観音開きのページに掲載している。 【学びに向かう力・人間性等】 ・学習のねらいが明確になるように、絵や彫刻に表現する学習の細かな内容を「絵や彫刻との出会い」に掲載している。 ・美術で学んだ力を生活や社会で生かせるように、作家の言葉を「社会に生きる美術の力」に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・たくさんの人とつくるよさに気付けるように、地域での活動や共同作品を「さまざまなアートにふれよう」に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・作家のインタビューや技法等の動画、作品等の資料が見られる二次元コードを掲載している。 ・表現と鑑賞を関連させて学習できるように、「鑑賞の入り口」を最初に示し、「表現のヒント」を囲みで示している。 【分量・装丁】 ・A4ワイド判で、学年に合わせて3分冊にしている。 ・表紙は、各学年に関連した西洋美術図版と日本美術図版、現代美術図版とし、表紙と裏表紙にまたがって掲載している。	・色の三属性の資料では、色の膨張・収縮、進出・後退について示すとともに、見え方の違いが少なくなるように、黄色を使って明度と彩度の変化を示している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

保健体育

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 導入「見つける」で、生活や自分の経験から課題発見につながる発問を設定し、学習課題を自分事として捉え主体的に課題解決に取り組むことができる工夫をしている。 対話的な学びを通して深い学びにつながるように、「活用する」「広げる」で多様な発問を設定し、学びを生活に生かすことができる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、情報を集めたり調べたりして課題を解決するために「課題の解決」を設定している。また、「活用する」「広げる」で、習得した知識・技能を活用して、より深く考え、学びを生活に生かす工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識を広げたり技能を習得したりするために、各章に「章末資料」や「学習のまとめ」を設定している。 健康や安全に必要な知識や技能を確認し、生活に活用できる資料を、「巻末スキルブック」に掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見つける」で生活や経験から思考する発問を提示し、「学習課題」や各見出しへ、課題解決に向けての発問を提示している。 習得した知識を活用して、さらに思考を深めるために、「活用する」「広げる」で生活に結び付ける活動を示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にキャリアを考えることができるよう、各章の内容に関係する職業を紹介する「保健体育の職業」を掲載している。 学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動を「広げる」で設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎市の給食の様子や交通環境整備に関する写真を掲載している。また「読み物」等で今日的な健康課題を掲載している。 性の多様性に配慮するために、教科書本文の表記を、「異性」ではなく「異性など」としている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」という学習活動の流れで構成している。 「活用する」では、仲間に説明したり、仲間と話し合ったりする活動を示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の内容を、基本的に見開き(2ページ)としている。また、ページの左側に本文、右側に資料や図を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文は明朝体、本文中のキーワードはゴシック体で表記している。 キャラクターの吹き出しで、学びを深めるヒントや学習のポイントに迫る言葉を掲載している。
4 大日本	中学校保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の学習を通して解決したい課題を「学習のねらい」に示し、「つかもう」で身の回りのことや自分の経験など、身近な疑問から学習をスタートできる工夫をしている。 「話し合ってみよう」で対話的な活動を設定して表現力を養うことができるよう、「活用して深めよう」で、学んだことを生活で活用する工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、考えを伝えたりまとめたりして課題を解決するために「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」を設定している。また、「活用して深めよう」で、学びをより深め、実践力を養う工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容がより深まるように、まとめ部分の「活用して深めよう」で実生活につながる学習課題を示している。 各章末で要点の再確認ができる資料を掲載したり、「重要な言葉」を説明するページを設けたりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話し合ってみよう」で、自分の考えを伝えたり、仲間の考えを聞いたりする学習活動を設定している。 学びを広げ深めながら日常生活に生かせるように、各章末に「学びを活かそう」というページを設けている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 章の扉ページに、章に関連する中学生の授業の様子や生活の様子を掲載している。 興味・関心を高め主体的に学習することができるよう、口絵等に写真や資料等を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生が避難所でできること等、学んだことを基に自分でできそうなことを考え、グループで話し合う活動を設けている。 性別に関わりなく個性や能力を大切にすることに関する内容を、トピックスに掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」という学習活動の流れで構成している。 プレインストーミングやロールプレイング等の学習方法を、「保健体育の学び方」で示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の内容を、基本的に見開き(2ページ)としている。また、心肺蘇生法は、ページ全体を確認しながら実習を進めることができるように、折り込みを開いて見る形にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句を太字で表記するとともに、第1学年では文章が文節の途中で切れない改行をしている。 主題(見出し)の横に参照資料番号を掲載し、見開き右側ページに関連する資料をまとめている。
50 大修館	最新 中学校保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 「きょうの学習」で、学習内容に関する発問を提示し、「課題をつかむ」で、これまでの経験や学習を生かしながら、意見を出し合ったり課題を解決したりする工夫をしている。 「学習のまとめ」に多様な表現活動を設定し、「章のまとめ」では、学んだことを生活に生かす問題を掲載するなど、学びを深める工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習課題への気付きや思考を促すために「課題をつかむ」「きょうの学習」を設定している。また、「学習のまとめ」で、仲間との対話的な学びや協働的な学びを通して、深い学びを実現する工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を把握し、知識の着実な定着につながるように、本文の見出しを学習内容の要点をまとめた表記にしている。 「章のまとめ」に、知識や技能が身に付いたかを確認できる問題を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びを広げ深めるために、「Web保育情報館」で学習に関連する情報を調べる活動を示している。 「学習のまとめ」で、自分の考えを伝えたり仲間の考えに触れたりする協働的な活動を設定している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を高めるために、学習内容や生活と関連する写真や著名人のコメント等の資料を掲載している。 「学習のまとめ」で、生活を見直したり、社会の在り方を考えたりする活動を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の健康課題や安全な生活について、「特集資料」「体育の窓」「コラム」等で説明している。 口絵「共生社会をつくるために」で、神奈川県にゆかりのある書家をはじめとする、様々な人の活躍する姿を紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「課題をつかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という学習活動の流れで構成している。 ディスカッションやアンケート・実地調査等の学習方法を「保健体育の学び方」で示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の内容を、基本的に見開き(2ページ)としている。また、見開きの左右両端に資料を掲載し、本文は中央に配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等を罫線で囲み、本文と区別できるレイアウトにしている。 学習内容について、キャラクターの吹き出しで見方や考え方などのヒントを提示している。
224 学研	新・中学保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 導入「ウォームアップ」で、自ら学習の課題に気付くことができるようになり、「エクササイズ」で、課題解決に向かうさまざまな方法を提示し、主体的に取り組むことができる工夫をしている。 「学びを生かす」で、学んだことを基にして身の回りの状況や情報を判断したり、生活にどう生きかすかを考えたりする活動を提示し、実践力を育成する工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりするため、「エクササイズ」を設定している。また、「学びを生かす」で、学習を深めたり生活につなげたりする活動を通して、実践力を養う工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びを生かす」で、知識をまとめたり、深めたり、活用したりする活動を設定している。 学んだことを振り返ったり、生活に活用したりできるようにするために、各章に「章のまとめ」を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えたことや学びたいこと等を教科書に直接書き込むことができる枠を設けている。 「エクササイズ」や「学びを生かす」で、具体的な事例を基に、話し合いを促すような学習課題を提示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎時間、主体的に学習に取り組むことができたかを自己評価できるように、「とりくメーター」を掲載している。 章のまとめの「生活への活用」で、さらに学習したいことや生活に生かしたいことを記述する課題を提示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎市の「水とかがやく未来館」の写真や、危険回避を図るAIアプリの資料を掲載している。 「探究しようよ！」でLGBT、LGBTQ+、SOGI等、性の多様性や個人差について説明している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ウォームアップ」「学習の課題」「エクササイズ」「学びを生かす」という学習活動の流れで構成している。 深い学びにつながるように、また、生徒が興味をもって主体的に取り組むことができるよう、各章末に「探究しようよ！」を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の内容を、基本的に見開き(2ページ)としている。また、行間や余白を確保し、気付いたこと等を書き込むことができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入「ウォームアップ」の位置を固定するとともに、「エクササイズ」「学びを生かす」を同じ色で表記している。 思考を促すために、キャラクターの言葉を語りかけたり問い合わせたりする表現にしている。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

技術・家庭(技術分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい技術・家庭技術分野未来を創るTechnology	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスで技術の見方・考え方を「最適化の窓」として示すとともに、各編に問題解決の例を複数掲載して、生徒が技術の見方・考え方を働かせた多様な問題解決を行うことができるよう工夫している。 ・技術の現場に携わる人の思いを「技術の匠」に掲載し、生徒が学習内容と社会とをつなげて考えることができるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、木造建築の伝統的な接合技術について掲載するなどして、日本の伝統や文化に誇りがもてるよう工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の原理・法則や基本的な技術の仕組みについて、写真や図を用いて幅広く掲載している。 ・問題解決に必要な基礎技能を「TECH Lab」などにまとめ、写真や図を用いて掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の見方・考え方について、ガイダンスの「最適化の窓」や各編の始めに示している。 ・複数の「問題解決例」を掲載し、それぞれに問題の発見から課題の設定までの流れを漫画を用いて例示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスで「技術のめがね」や「最適化の窓」のコーナーを設け、技術を見る視点を示している。 ・「問題の解決・改善・修正」のページに、自分の問題解決の過程を振り返る視点を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術の匠」のコーナーを随所に設け、専門分野で活躍する人々を紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容A～Dに対応して、1編～4編の4編で構成するとともに、巻頭には「技術分野のガイダンス」、巻末には「統合的な問題解決」や「技術分野の学習を終えて」などを掲載している。 ・各節は見開きを基本とし、左ページに「目標」と「学習課題」を掲載し、右ページの最後に「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」のコーナーを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判についている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各編を色分けして、1章から3章(D編のみ4章)を濃淡を用いて示し、教科書を閉じた状態でも編と章が分かるようにしている。 ・二次元コードの箇所はページ右上に統一している。 ・専門用語は、脚注などで平易な表現で解説し補足している。
6 教図	新技術・家庭技術分野明日を創造する	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスでさまざまな立場や見方・考え方からの問題解決の例を示すとともに、各編に漫画を用いた「問題解決の流れ」を掲載して、生徒が主体的に問題解決に取り組むことができるよう工夫している。 ・社会課題へ挑戦する人々を紹介するコーナーや「先輩からのメッセージ」を掲載し、生徒の進路選択や職業観・勤労観の育成につなげることができるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、木造建築技術で伝統構法を受け継ぐ職人の技術を掲載するなど、日本の伝統や文化を尊重するよう工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会で使われている技術の例を、写真や図を用いて幅広く掲載している。 ・A編からD編の実習で必要な基礎技能は別冊「スキルアシスト」にまとめ、写真や図を用いて掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスで、立場や見方・考え方によって問題の見え方や解決策が異なることの例を示している。 ・「問題を解決する流れを考えよう」で漫画を用いながら問題を解決する流れを示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある技術をガイダンスで紹介し、技術が社会で果たしている役割を示している。 ・「やってみよう」の中に、自分で学んだり、グループで学んだりするための問い合わせを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の課題へ挑戦する人々を紹介するコーナーや「先輩からのメッセージ」を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容A～Dに対応して、A～D編で構成するとともに、巻頭には「ガイダンス」、巻末にはE編の「夢をかなえる技術」や各自の構想を記入するワークシートなどを掲載している。 ・各節は見開きを基本とし、左ページに「めて」を掲載し、右ページの最後に「ふり返る」のコーナーを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4変形判で縦幅をA4判よりやや大きくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各編を色分けし、教科書を閉じた状態でも編と章がわかるようにしている。 ・二次元コードの箇所はページ右下に統一している。 ・本文は「敬体」、図版は「常体」とし、表記にめりはりをつけている。
9 開隆堂	技術・家庭技術分野テクノロジーに希望をのせて	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスで身近な製品を通して技術の見方・考え方を示すとともに、各編に実習例を複数掲載して、生徒がその実習における「問題解決の流れ」を系統的に学習できるよう工夫している。 ・技術に関わる方へのインタビューを掲載し、技術と社会とのつながりや職業観の育成につなげることができるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、法隆寺や姫路城を例に挙げ、日本の伝統や文化のよさに気が付けるよう工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な根拠をもとにした資料を、写真や図を用いて幅広く掲載している。 ・実習に必要な基礎技能は、実習例を示しながら写真や図を用いて掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスや各編の冒頭で、身近な製品や生物(作物)を通した技術の見方・考え方を示している。 ・「問題解決の流れ」でイラストを用いて問題解決の手順を示すとともに、「実習例」で具体例を掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスや各編の冒頭で身近な製品を例にしながら学習内容に関連する技術の役割を示している。 ・各小項目の冒頭で「学習課題」を示すとともに、それに対応する「CHECK」項目を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編の最後に、技術に関する仕事を行っている人物を紹介する「Interview」コーナーを設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容A～Dに対応して、A～D編で構成するとともに、巻頭には「ガイダンス」、巻末には「技術分野の出口」として問題解決の振り返りとともに、「統合実習例」などを掲載している。 ・各節は見開きを基本とし、左ページに「学習課題」を掲載し、右ページの最後に「CHECK」コーナーを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判についている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各編を教科書上部で色分けし、教科書を閉じた状態でも各編が分かるようにしている。 ・二次元コードの箇所はページ上部に統一している。 ・重要語句は太字(ゴシック体)にして、表記にめりはりをつけている。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

技術・家庭(家庭分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	・生活の営みに係る見方・考え方を働きかせて問題解決的な学習が進められるように、課題につながるヒントや学習を見通す学習課題を工夫している。 ・活動例を「いつも確かめよう」や動画等でまとめて掲載し、実践的・体験的な活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して「日本の食文化と和食の調理」、「日本の衣服の文化」、「住まいと気候風土の関わり」等を「伝統文化」マークをつけて掲載し、日本の生活文化を継承する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・衣生活、食生活の基礎的な技能を「いつも確かめよう」でまとめて示している。 ・動画、献立作成や通信販売のシミュレーション、資料・図鑑などを確認できる二次元コードを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・見方・考え方が4つのマークで分類され、キャラクターの吹き出しで、問題発見や課題設定のヒントを示している。 ・学習の進め方の問題を解決する道筋を①課題を決めよう②計画を立てよう③実践しよう④評価しよう⑤改善しよう⑥次の課題に挑戦しようとして、巻頭でまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・既習内容を振り返り、学習の見通しがもてるよう各編の導入に「小学校家庭科で学んだこと」「この編で学ぶこと」を掲載し、各章のはじめに「目標」、「学習課題」を示し、「学習のまとめ」で「生活の課題と実践」につながる内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・学習内容に関連した職業の人の「プロに聞く！」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を①ガイダンス、家族・家庭生活②食生活③衣生活④住生活⑤消費生活・環境⑥家族・家庭生活⑦生活の課題と実践としている。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。 ・主たる実習例は見開き2ページで、手順が左から右へと流れるように示している。	・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示し、多様性(ジェンダー・左利き)に配慮した表記をしている。 ・他教科や小学校での学習内容を意識できるように、関連するページに教科・単元内容を掲載し、SDGsについて、巻末に記載している。
6 教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	・学びと暮らしを「つなぐ、つなげる」ことで、生活の営みに係る見方・考え方を働きかせながら問題解決的な学習が図れる工夫をしている。 ・実習例や動画等を掲載し、体験や実践的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「年中行事と私たちの暮らしのつながり」、「伝承遊び」、「和食」などを取り上げて「伝統文化」マークをつけて掲載し、日本の生活文化を継承する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・衣生活、食生活の基礎的な知識や技能を図や資料に示し、実習例や製作例を、複数例示している。 ・動画コンテンツを視聴することで基礎技能について確認できるよう、二次元コードを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・見方・考え方を「つなぐ、つなげる×家庭分野」で巻頭に示している。 ・課題解決学習の流れを①問題を発見する②課題を設定する③計画・実践する④評価する⑤改善する⑥次の課題へとして、巻頭にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・編のはじめに「自立度チェック」、各章のはじめに「めあて」「キーワード」、各章末の「学びを生かそう」で「生活の課題と実践」例を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域や社会で活躍している人たちからのエールの「センパイに聞こう！」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を①ガイダンス②家族・家庭生活③食生活④衣生活⑤住生活⑥消費生活・環境⑦生活の課題と実践としている。 【分量・装丁】 ・判型は、A4変形判にしている。 ・主たる実習例は見開き2ページで、手順が上から下へと流れるように示している。	・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示し、包丁の扱い方で「右利き」「左利き」の写真表記をしている。 ・他教科や小学校での学習内容とのつながりの「関連」マークを示し、SDGsについて、巻頭に記載し、関連する内容にマークを記載している。
9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	・生活の営みに係る見方・考え方を「生活の見方・考え方」として示し、生活を見つめ、自分の経験を踏まえた問題に気付き、学習が進められるような工夫をしている。 ・実習例や動画等を掲載し、実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「受け継がれてきた食文化」、「和服の文化にふれてみよう」、「日本の気候風土と住まい」などを取り上げて「伝統文化」マークをつけて掲載し、日本の生活文化を継承する工夫をしている。	【知識及び技能】 ・調理手順、製作の基礎・基本を写真や言葉で示し、実習例や製作例を、複数例示している。 ・製作や実習や実験を動画で確認できる二次元コードを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・見方・考え方を「家庭分野の学び方と身につけたい力」に巻頭で示している。 ・生活課題の取り組み方を①生活を見つめ、課題発見・課題設定②計画③実行・実践④まとめ・発表⑤ふり返り・評価⑥生活にいかす・次の課題へとして、巻頭でまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各内容のはじめに学習の目標を示し、学習のはじめに自分の日常生活の問題に気付くような活動を促す言葉を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域や社会での取り組みの「先輩からのエール」「地域の取り組み」「中学生の取り組み」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を①ガイダンス②家族・家庭生活③食生活④衣生活⑤住生活⑥消費生活・環境⑦生活の課題と実践としている。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。 ・主たる実習例は見開き2ページ、手順が左から右へと流れるように示している。	・「図」や「参考」に学習の資料等を写真や図、言葉で示し、包丁の持ち方で「右きき」「左きき」のイラスト表記をしている。 ・関連した内容が分かるように、他教科と関連する内容は「他教科」マークを示し、SDGsについて、巻頭と関連するページに記載している。

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

英語

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON English Course 1	・各単元内の「Activity」、各単元末の「Unit Activity」を年間3回の「Stage Activity」に系統的につなげ、既習事項を繰り返し活用できるように工夫している。 ・「学び方コーナー」で、英語学習のポイントやコツを取り上げ、主体的な学習態度を身に付ける工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「外國語教育の充実」に関して、「Practice」「Read and Think」「Unit Activity」「Stage Activity」等では、英語で意思や情報を伝え合う対話的な活動や協働して問題解決に当たる活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元に本文内容と関連した練習「Practice」を設けている。 ・文法事項を使い方、形、場面等でまとめた「Grammar for Communication」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「Unit Activity」で身に付けた力を活用し、相手意識を持って言語活動を行う技能統合的な言語活動「Stage Activity」を年間3回設けている。 ・各単元の本文の概要を捉える質問があり、目的意識をもって読むことができるよう工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「Can-Do リスト」を巻末に掲載し、生徒の主体的な学習を支援している。 ・英語の学び方のコツをまとめた「学び方コーナー」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・世界遺産や日本文化の紹介など、国際理解・異文化理解に関する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各単元の本文内容に関連して自分の考えを整理し、表現する「Unit Activity」を設けている。 ・1年生に小学校での学びを振り返る「Unit 0」を設けている。また、小学校で学んだ単語をまとめて掲載している。 【分量・装丁】 ・判型はA4判にしている。 ・巻末に、即興での会話の例を示した付録「Small Talk」を設けている。 【学習者用デジタル教科書】 ・紙面の明るさや書体を変えたり、指定のアイコンをクリックすると教科書の二次元コードのコンテンツを利用したりできるようにしている。	・1年生では、手書きに近いユニバーサル書体を採用している。 ・専門家による校閲を受け、カラーユニバーサルデザインの観点から配色およびデザインを工夫している。
	NEW HORIZON English Course 2					
	NEW HORIZON English Course 3					
9 開隆堂	Sunshine English Course 1	・複数単元のまとめの言語活動「Our Project」では、モデルの理解、リハーサル、原稿修正、本番、振り返りの段階を踏んで取り組むことができるよう工夫している。 ・文章構成や簡単な表現への言い換えなどのアドバイスを「Step for Our Project」で掲載している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「外國語教育の充実」に関して、「Scenes」「Review and Retell」「Action」「Our Project」等では、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元の「Scenes」に、新出表現に関する知識・技能を習得し、練習につなげる「Listen」、「Speak & Write」を設けている。 ・各単元末の「英語早わかり」で文法事項を意味、使い方等でまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の単元で学んだ既習事項を活用してスピーチや発表を行う「Our Project」を年3回設けている。 ・各単元の「Review & Retell」で本文理解を深め、要点を捉えて伝えることができるようになっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・巻末に各単元の見通しを持たせ、自分の達成度を記録する「Can-Do リスト」を設けている。 ・「Our Project」でより相手に伝わりやすいスピーチをするためのアドバイスなどを扱った「Step for Our Project」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・各単元に関連した内容で、世界遺産など、国際理解・異文化理解などを扱う「Coffee Break」を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・本文を振り返り、自分の言葉で伝える「Review & Retell」を設けている。 ・1年生では、小学校での学びを振り返る「Get Ready」を設けている。また、小学校で学んだ語を脚注で示している。 【分量・装丁】 ・判型はA4判にしている。 ・巻末に、即興的なやり取りの力を伸ばす「Small Talk表現集」「Small Talkの流れ」を示している。 【学習者用デジタル教科書】 ・「ふせん」機能を設け、メモを書き込み、好きな場所に貼ることができるようになっている。	・1年前半では手書きに近い書体を採用し、1年後半では活字に近い書体を採用している。 ・読みやすく、見分けやすい配色を心掛けたカラーユニバーサルデザインを採用している。
	Sunshine English Course 2					
	Sunshine English Course 3					
15 三省堂	NEW CROWN English Series 1	・事実や自分の考えを整理し既習事項を繰り返し活用する4技能を統合した言語活動「Project」を設けている。 ・「For Self-study」で英語の学び方を紹介し、自律的に学習できるように工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「外國語教育の充実」に関して、「Exercise」「Small Talk Plus」「Take Action」「Goal Activity」等では、目的や場面、状況等に応じて、相手意識を持って外國語でコミュニケーションを図る言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元に基本文を活用して自分のことを表現する「Exercise」を設けている。 ・「Language Focus」で文法事項を整理し、文法事項の理解を深めることができるようにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な話題について自分の考えを整理して、話したり、書いたりする「Project」を各学年3回設定している。 ・聞いたり読んだりしたことについて相手意識をもって自分の考えを表現する「Goal Activity」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各学年の巻末に「Can-Doリスト」を設け、学びの見通し立て、振り返ることができるようになっている。 ・「For Self-study」を設け、自分に合った学び方を見つけて学習を進めることができるようになっている。 【かわさき教育プラン】 ・登場人物シンガポールから日本に来た中学生との交流について扱うなど国際理解・異文化理解に関連する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・表現を工夫しながら即興的なやりとりを行う「Small Talk Plus」を設けている。 ・第1学年では小学校の学習内容を復習する「Starter」を設け、小学校で学んだ語句にはマークを付いている。 【分量・装丁】 ・判版はA4判にしている。 ・巻末にペアでの活動を支える「Role-play Sheet」を設けている。 【学習者用デジタル教科書】 ・音声読み上げをしている部分をハイライトで確認しながら聞いたり、学習者用デジタル教科書上に手書きで書き込んだりできるようになっている。	・1年生では手書き文字に近いユニバーサルデザインに配慮した書体を使用している。 ・専門家の校閲によるカラーユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりにしており、単元の各学習コーナーを定位置に配置している。
	NEW CROWN English Series 2					
	NEW CROWN English Series 3					
17 教出	ONE WORLD English Course 1	・既習の知識・技能を活用し、5つの領域の力を統合的に用いる言語活動「Project」を設けている。 ・Lesson間に「Tips for ~」を設け、4技能5領域の基礎的な力を伸ばす学習の進め方のアドバイスを掲載している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「外國語教育の充実」に関して、「Think & Try」「Read & Try」「Task」「Project」等では、生徒の興味を引き付ける話題を扱い、他者と関わりながら進めていく言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元に本文を利用したやり取りの練習を行う「Think & Try」を設けている。 ・各Lesson末に文法事項の使い方をまとめた「Grammar」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コミュニケーションの目的、場面、状況に応じて学んだ知識や表現を生かす課題解決的な言語活動「Project」を各学年3回設けている。 ・本文の概要や要点を捉える質問「check」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・巻末の「Can-Do自己チェックリスト」で、自分の学習を振り返ることができるようになっている。 ・4技能の基礎的な力を伸ばすアドバイスを掲載した「Tips for ~ing」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・外国と日本の学校の違いや手話、環境問題、ホームステイなど国際理解・異文化理解に関する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各単元で本文の振り返りを行い、意見を書いたり伝え合ったりする「Task」を設けている。 ・小学校で学んだ表現を振り返る「Springboard」を設けている。また、小学校で学んだ語を四角で囲んでいる。 【分量・装丁】 ・判版はAB判にしている。 ・「Activity Plus」で既習事項を用いながら、即興的なやり取りの力を伸ばす工夫をしている。 【学習者用デジタル教科書】 ・教科書本文の音声の速度を調整したり、文字をハイライト表示しながら聞くことができるようになっている。	・1年生Lesson3までは、手書き文字に近いフォントを使用している。 ・専門家の校閲を受け、様々なアイコン、イラスト、図表などにおいて色覚特性に配慮を行っている。
	ONE WORLD English Course 2					
	ONE WORLD English Course 3					

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫 学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1	・複数の単元で学んだことを生かして取り組む言語活動「You Can Do It!」を設け、既習事項を活用できるように工夫している。 ・「英語の学び方ガイド」や「ICTを活用しよう」「思考の地図」を設け、生徒が自分に合った学び方を見つけるように工夫している。	【知識及び技能】 ・本文で語彙や文法事項を提示し、「Listen」「Speak」「Write」で定着を図る練習活動を設けている。 ・文法事項を意味、形、語順等でまとめ、使用場面を比較しながら学ぶ「Active Grammar」を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・即興で話す力を身に付ける「Story Retelling」「Let's Talk」や、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じた言語活動「You Can Do It!」を年間3回設けている。 ・生徒の生活に身近な内容を扱った本文「Listen and Read」に、聞いたり読んだりしたことについて概要や要点を捉える質問を配置している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生徒が見通しをもって学習を進めることができるように、各学年の巻末の「CAN-DO List」を掲載している。 ・領域別の学び方や活動への取り組み方、家庭学習方法等を紹介した「英語の学び方ガイド」や「ICTを活用しよう」をすべての学年で設けている。 【かわさき教育プラン】 ・世界の学校生活などの国際理解を深めることができる題材を扱う「World Tour」を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・生徒が身近に感じられるストーリーに繰り返し触れ、自分の言葉で理解した内容を伝える「Story Retelling」を設けている。 ・小学校での学びを振り返る「Let's Be Friends!」を設けている。また、小学校で学んだ語彙、表現や文法事項にはマークを付けている。 【分量・装丁】 ・判型はAB判にしている。 ・即興のやり取りの力を伸ばす教材「Let's Talk!」を設けている。 【学習者用デジタル教科書】 ・生徒が自分に合った速度で音声を繰り返し聞くことができるよう再生速度を13段階で調整できるようにしている。	・1年生前半では独自に開発した手書きに近い書体を使用し、1年後半からはブロック体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け、色覚特性を持つ生徒に配慮を行っている。
	Here We Go! ENGLISH COURSE 2				
	Here We Go! ENGLISH COURSE 3				
61 啓林館	BLUE SKY English Course 1	・複数単元の学習を終えた後に技能統合的な言語活動「Project」を設け、学んだ内容を活用し、言語の使用場面を想起しながら発信する力を伸ばすことができるよう工夫している。 ・「英語の学び方」を設け、生徒が自分自身で英語学習を進めていくためのヒントを掲載している。	【知識及び技能】 ・各単元の本文で語彙や文法事項等を提示し、「Listen」、「Speak」、「Write」で定着を図る練習活動を設けている。 ・文法事項を意味、形、場面等でまとめた「Focus on Form」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「聞く」「読む」「話す」「書く」技能を統合的に活用してコミュニケーションを図る「Project」を3年間で8回設けている。 ・さまざまなジャンルの英文を読んで話の概要や要点を捉える「Let's Read」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各Unitのとびらに目標を明示し、巻末の「CAN-DO List」で学習到達目標を振り返ることができるように工夫している。 ・英語の学び方を紹介した「英語の学び方」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Let's Read」で外国や日本の物語、伝記など国際理解・異文化理解について扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各Unitに即興的なやり取りの力を身に付けるために「Enjoy Chatting」を設けている。 ・小学校での学習を振り返る「Let's Start」を設けている。また、小学校で学んだ語彙、表現や文法事項にはマークをつけている。 【分量・装丁】 ・判型はA4判にしている。 ・各パートの「Enjoy Chatting」に即興的なやり取りにつなげる質問を掲載している。 【学習者用デジタル教科書】 ・音声の速度を変更したり、指定のアイコンをクリックすると教科書の二次元コードのコンテンツを利用したりできるようにしている。	・1年次では、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインを工夫している。
	BLUE SKY English Course 2				
	BLUE SKY English Course 3				

令和7年度使用教科用図書審議結果 ⑦

道徳

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい道徳 1 新編 新しい道徳 2 新編 新しい道徳 3	・学びを深めたり広げたりするため、教材とコラムを活用した学習例を掲載する工夫をしている。 ・ポスターやグラフ、NHK番組「ココロ部！」など様々な教材を配置する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関して、広い視野で考えられるよう、現代的な課題に関する教材を配置したり、多面的・多角的に考えられるよう、発問構成の工夫をしたりしている。	【知識及び技能】 ・いじめの問題、生命の尊さに関する内容は3つの教材でユニット学習を設定している。 ・情報モラルに関する教材を6月に配置し、防災に関する教材にはVR映像を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材末に「考え方」「見つめよう」を設け、さらに考えを深める発問「ぐっと深める」を掲載している。 ・多面的・多角的に考えるために、探究の対話「p4c」を活用するコラムを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材末に自己を見つめる問い合わせ「見つめよう」、導入や学習後に活用できるコラム「プラス」を掲載している。 ・卷末に、学期ごとに自己を振り返る切り取り式のページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・多様性に関して、性やジェンダーだけでなく、国際理解、ダイバーシティなどの教材を掲載している。 ・アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)、アンガーマネジメント等に関するコラムを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に学び方を示すページを掲載している。 ・全ての教材に朗読音声とワークシートのデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・35教材と付録4教材(SDGs関連が3つ)を掲載している。 ・心情円を作成できるページを設けている。 ・小学校で学習した教材を付録に掲載している。 ・AB判にしている。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、主題を掲載している。 ・漫画、写真、動画等を用いた教材を掲載している。 ・3年間を通して、同じ登場人物が友情を育む内容を掲載している。
17 教出	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ	・絵本、写真や漫画などの教材を掲載し、内容を把握しやすくする工夫をしている。 ・ウェルビーイングにつなぐ学び方ができるよう、自分の考え、他者の考えを比較するなど対話ができる教材や多様な学び方ができる教材を配置する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関して、道徳的価値について問題意識をもつ問い合わせや多面的・多角的に考える問い合わせの工夫、内容理解がしやすい多種多様な教材を配置するなどの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・いじめの問題、持続可能な社会、生命の尊さに関する内容は2つの教材でユニット学習を設定している。 ・情報モラル、防災、多様性等の現代的な課題については、教材と「ひろば(コラム)」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な学習ができる教材を各学年に1~3つずつ掲載している。 ・教材末「学びの道しるべ」に問題意識をもつ問い合わせ、多面的・多角的に考える問い合わせを3つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ひろば(コラム)」には、教材での学びを生かしたり、他の教科や生活につなげる内容を掲載している。 ・卷末に振り返りシートや、1年間の学びの集大成としてよりよい生き方を考えるページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題に関する教材には、コミュニケーションスキルを学ぶコラムを掲載している。 ・人権を尊重し、多様性を認め合う社会や自分らしく生きることについて考える教材やコラムを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に学び方を示し、話し合いのポイントや思考ツールの活用例等を掲載している。 ・動画、思考ツール等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・30教材と補充5教材を掲載している。 ・小学校で学習した教材を2年に掲載している。 ・B5判にしている。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、導入で活用できる発問や、巻末に、教材に関連するSDGsの目標を掲載している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。 ・3年間を通して、同じ登場人物が自律について考える内容を掲載している。
38 光村	中学道徳 1 きみがいちばんひかるとき 中学道徳 2 きみがいちばんひかるとき 中学道徳 3 きみがいちばんひかるとき	・複数の教材を関連させ、多様な学びを意識できるテーマを設定した教材配置や、問題意識をもって学習に取り組む流れやコラムを掲載する工夫をしている。 ・人権について考える教材をユニットとして設定する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関して、教材と生活のつながりが意識できる教材を配置したり、多面的・多角的に考えられる発問を構成したりする工夫をしている。	【知識及び技能】 ・いじめ問題、情報モラル、キャリア教育、人権等の現代的な課題について、ユニット学習を設定している。 ・内容項目を限定しない「道徳の学習を始めよう(第1教材)」、「1年間を振り返ろう(最終教材)」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「やってみよう」には考えを深める問い合わせや話し合いの仕方、巻末には思考ツールの活用を掲載している。 ・教材末に自ら問い合わせ立てる「チャレンジ」や学びのテーマにせまるための問い合わせを2つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コラムには、教材の内容に関連した資料や視点を変えた情報を掲載している。 ・1年間の学びや学期ごとの学びを記録できるワークシート「学びの記録」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・感情のコントロールなど社会情緒的能力に関するコラムを、いじめの問題に関する教材に掲載している。 ・人権について考えられるユニット学習として3つの教材とコラムを掲載し、人権週間に配置している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に1年間の学習内容を確認できる「道徳道案内」を掲載している。 ・朗読や動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・35教材と付録2教材を掲載している。 ・小学校で学習した教材を付録に掲載している。 ・B5変型判にしている。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、キーワードを掲載している。 ・教材の終わりにSDGs、他の学習との関連が分かるマークを記載している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。
116 日文	中学道徳 1 あすを生きる 中学道徳 1 道徳ノート 中学道徳 2 あすを生きる 中学道徳 2 道徳ノート 中学道徳 3 あすを生きる 中学道徳 3 道徳ノート	・発達の段階に沿って設定した学年テーマに応じて教材を配置したり、現代的な課題に関わって生き方を考えられる教材を掲載したりするなどの工夫をしている。 ・全教材で学習の流れが見える「3つのステップ」を設ける工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関して、自分との関わりで捉えることができる発問の構成や学びの見通しをもつことができる年間を見通した教材の配置などの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「いじめと向き合う」、ウェルビーイングを意識した「よりよい社会を考える」というテーマでユニット学習を2~3回設定している。 ・3年間を見通し、発達の段階や年間行事(職場体験や部活動引退等)を踏まえて教材を配置している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な学習ができる教材には、活動例を示す「学びを深めよう」を掲載している。 ・教材を通して考える問い合わせ「深めよう」と、自分との関わりで考える問い合わせ「自分に+1」を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コラム「視野を広げて」には、他教科や他活動と関連のある内容を掲載している。 ・別冊「道徳ノート」は発問欄を空欄にし、巻末に学期ごとに振り返るページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題に関する教材は5月と9月に配置し、多面的・多角的に考えられる知識とスキルに関するコラムを掲載している。 ・「向上心、個性の伸長」「相互理解、寛容」を重点にし、多様性に関する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を示し、話し合いを体験できるミニ教材を掲載している。 ・朗読や動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・B5判にしている。 ・別冊「道徳ノート」を設け、二次元コードからデジタル版も活用できるようにしている。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、めあてに使える学びのキーワードを掲載している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。 ・すべての教材が右ページから始まるようにしている。

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	新版 中学生の道徳 明日への扉 1	・重点テーマを「いのち」と設定し、人権や多様性を意識しながら学習ができる教材を配置する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関して、教材を基に自分の考えを深めたり、協働的な学びで多様な意見に触れたりできるよう、発問や学習活動例を工夫している。	【知識及び技能】 ・キャリア教育、SDGs、多様性に関するテーマでユニット学習を1つずつ設定している。 ・「生命の尊さ」に関する教材を3つ、また他の内容項目からも命について考えられる教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な学習ができるよう、学習の進め方を「深めよう」に掲載している。 ・教材末「考え方」には、教材の内容や自分との関わりについて考える問い合わせを2つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「クローズアップ」には、内容項目の関連情報や、多面的・多角的な見方ができる視点等を掲載している。 ・「深めよう」には、学んだことを生き方につなげたり自分の課題を見つけたりする問い合わせを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・多面的にいじめの問題について考える教材やレジリエンス(困難を乗り越える力)、多様性、LGBTQに関する教材を掲載している。 ・キャリアへの意識を高めるため、様々な分野で活躍する人物の生き方に視点を当てた教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・卷頭に「見つけよう」「考え方」「話し合おう」「生き方につなげよう」という学び方や思考ツール、ICTの活用について示している。 ・画像、動画、思考ツール(ワークシート型)等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・卷末に学期ごとに振り返る「学びの記録」、日々の授業を振り返る「学びのメモ」を設けている。 ・35教材を掲載している。 ・AB判にしている。	・各教材冒頭に、内容項目の視点、現代的な課題やSDGsに関するマークを表示している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。 ・教材の一文を抜き出して、教材冒頭に表示している。
	新版 中学生の道徳 明日への扉 2	・ウェルビーイングの実現に向け、広い視野で考えることができる教材、他者とともによりよく生きることを考えられる教材など多面的・多角的に考える教材などを配置する工夫をしている。				
	新版 中学生の道徳 明日への扉 3					
232 あか図	中学生の道徳 1 中学生の道徳 2 中学生の道徳 3	・生徒同士、生徒と教師や保護者など、様々な人と対話が生まれるよう、幅広い教材を配置する工夫をしている。 ・現代的な課題に関する内容は、学年内で継続的に学習できるように教材を配置したり、3年間を見通して深めるテーマを設定したりするなどの工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関して、教材と向き合い、考えを深められるよう、多様な教材や多様な指導方法を取り入れる等の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・いじめを考える、情報モラル、キャリアというテーマでユニット学習を設定している。 ・「生命の尊さ」「自主、自律、自由と責任」等を重点とし、3教材ずつ掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な学習等、多様な学習活動例を「マイプラス」に掲載している。 ・教材末に「いろいろな見方で考える」「考え方を深める」という視点で発問を2つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・SDGsとの関連や教材で学習した内容を深めたり広げたりするためのコラム「Thinking」を掲載している。 ・卷末に学期ごとの学びの振り返りや1年間の学びの振り返りを記入するワークシートを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題、人権尊重教育に関連する教材を5~7つ掲載し、いじめの問題に関する教材は5、6月に配置している。 ・2、3年では「共に生きる社会」をテーマに3教材とコラムで構成したユニット学習を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・卷頭に道徳科の学び方を例示し、第1教材には例示を生かした学習ができる「道徳はじめの時間」を掲載している。 ・動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・B5判にしている。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマークを表示している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。
233 日科	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を創造する	・自分の思いや考え方を他人、自分の生活、命・環境に広げ、深めていくことを重視した教材の配置をする工夫をしている。 ・他者とともに生きる「よりよいあり方」を考えられるよう、ウェルビーイングカードを活用した学習活動ができる教材を工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関して、一人一人が思いや考え方を伝え、多面的・多角的に考えられるよう、教材の内容や巻末カードを取り入れた学習活動等の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「いじめの問題」「情報モラル」「環境資源」等、現代的な課題に関連する教材を掲載している。 ・キャリア教育に関して、「自己理解」「自己啓発」「自己実現」をテーマにした教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材末に「考え方・深めよう」を設け、問い合わせを2つ掲載している。 ・複数の教材を扱いながらグループワークで学習を進めることができる教材を2~3つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・巻末に切り取り式のウェルビーイングカードを設け、併用して学習ができる教材を掲載している。 ・哲学者の格言等から「自由」「幸福」「愛」について考える教材を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・人権、福祉、ジェンダーについて考える教材を掲載している。 ・いじめの問題について、学校生活でいじめに陥りやすい場面を取り上げた教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・内容項目のA~Dの視点順に教材を掲載している。 ・ガイダンス教材では、道徳科の学び方や「ウェルビーイングカード」を活用しながら考える教材を掲載している。 ・動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・34教材とガイダンス1教材を掲載している。 ・AB判にしている。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、ウェルビーイングカードが活用できるマークを表示している。 ・漫画、写真、動画等を用いた教材を掲載している。 ・3年間通じて、同じ登場人物が友情について考える内容を掲載している。